

# 札幌市産業振興ビジョン策定に係る基礎調査 アンケート結果報告書

平成 21 年 12 月

札幌市産業振興部経済企画課

# 1 調査実施要領

## (1) 調査時期

平成 21 年 10 月(調査票回収期間 21 年 10 月 9 日～11 月 9 日)に実施した。

## (2) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート調査

## (3) 調査対象

### ア 札幌広域都市圏企業向けアンケート

#### (ア) 対象企業

札幌市、苫小牧市、小樽市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村の事業所

#### (イ) 対象業種

農林漁業、鉱業および公務を除く全産業

(建設業、製造業、電気・ガス・水道業、情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、金融・保険業、不動産業、飲食業、宿泊業、医療・福祉サービス業、教育・学習支援サービス業、その他サービス業)

#### (ウ) 送付企業数

10,000 社

札幌広域都市圏の事業所の中から、各市町村の事業所数および業種別割合に応じて按分し、無作為抽出。

#### (エ) 回答状況

有効回答 2,325 社

### イ 道外企業向けアンケート

#### (ア) 対象企業

人口 100 万人以上の政令指定都市(仙台市、さいたま市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、福岡市)および東京都区部に本社を有する企業。

#### (イ) 対象業種

農林漁業、鉱業、建設業、電気・ガス・水道業、不動産業および公務を除く全業種

(製造業、情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、金融・保険業、飲食業、宿泊業、医療・福祉サービス業、教育・学習支援サービス業、その他サービス業)

#### (ウ) 送付企業数

1,000 社

対象市および東京都区部に本社を有する企業の中から、各市の事業所数および業種別割合に応じて按分し、本社のみ無作為抽出。

#### (エ) 回答状況

有効回答 145 社

## 2 札幌広域都市圏企業向けアンケート結果

### 回答企業の概要

資本金（支社・支店の場合は、企業全体の資本金）

資本金	件数(社)	構成比(%)
1000万円以下	1,289	60.2%
1000万円超～3000万円以下	506	23.6%
3000万円超～5000万円以下	136	6.4%
5000万円超～1億円以下	93	4.3%
1億円超～5億円以下	65	3.0%
5億円超	52	2.4%
計	2,141	100.0%

### 所在地

所在地	件数(社)	構成比(%)
札幌市	1,660	76.4%
苫小牧市	157	7.2%
小樽市	114	5.2%
江別市	55	2.5%
千歳市	54	2.5%
恵庭市	30	1.4%
北広島市	42	1.9%
石狩市	47	2.2%
当別町	13	0.6%
新篠津村	1	0.0%
計	2,173	100.0%

業種（複数の場合は、最も売上高の高い業種）

業種	件数(社)	構成比(%)
建設業	328	15.0%
食料品製造業	44	2.0%
印刷・同関連製造業	19	0.9%
金属製品製造業	24	1.1%
一般機械器具製造業	8	0.4%
その他製造業	71	3.3%
電気・ガス・水道業	20	0.9%
情報通信業	28	1.3%
運輸業	74	3.4%
卸売業	173	7.9%
小売業	261	12.0%
金融・保険業	42	1.9%
不動産業	235	10.8%
飲食業	171	7.8%
宿泊業	19	0.9%
医療・福祉サービス業	178	8.2%
教育・学習支援サービス業	11	0.5%
複合サービス業	32	1.5%
その他サービス業	444	20.3%
計	2,182	100.0%

従業員数・非正規社員数

従業員数(人)	件数(社)	構成比(%)
0～5	1,024	50.9%
6～50	814	40.4%
51～100	87	4.3%
101～300	62	3.1%
301～999	18	0.9%
1,000以上	8	0.4%
計	2,013	100.0%

うち非正規社員(人)	件数(社)	構成比(%)
0～5	1,018	73.7%
6～50	292	21.1%
51～100	38	2.7%
101～300	24	1.7%
301～999	4	0.3%
1000以上	6	0.4%
計	1,382	100.0%

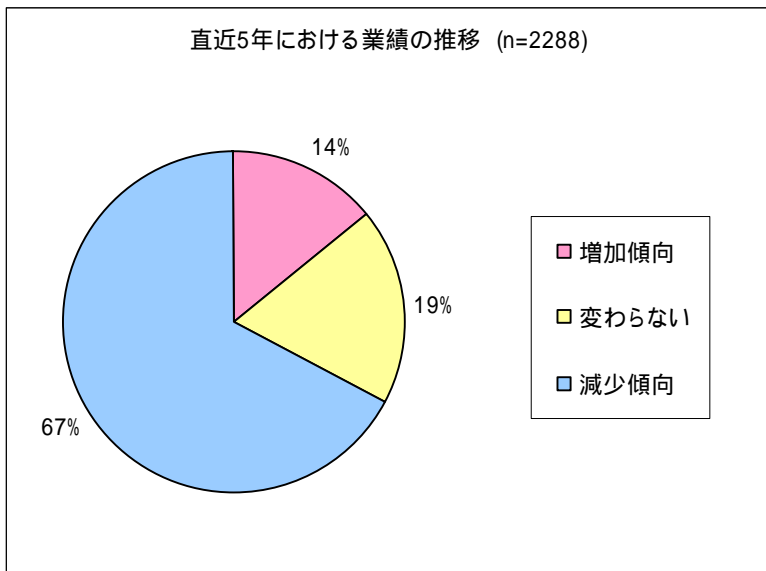
本社所在地

本社所在地	件数(社)	構成比(%)
道内	1,902	94.3%
道外	115	5.7%
計	2,017	100.0%

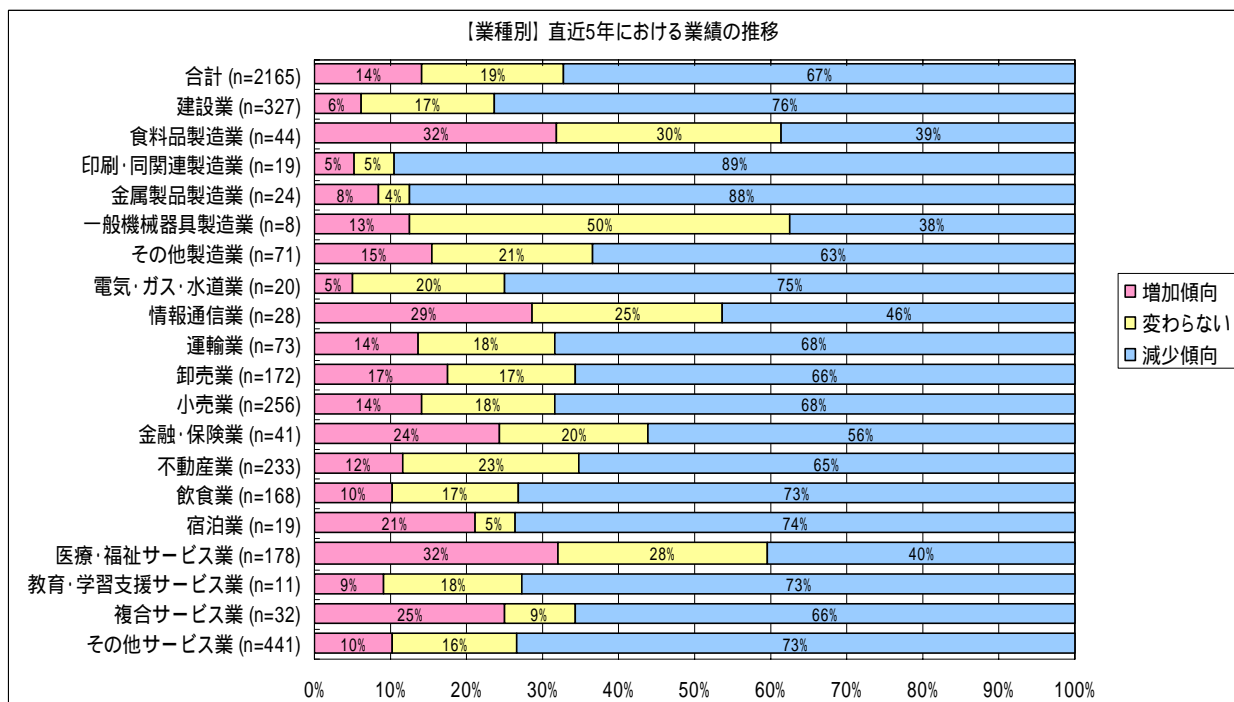
・経営状況について  
【売上高の推移】

問1 直近5年における業績（売上高）の推移について教えてください。（  は1つ）

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 1. 増加傾向 | 2. 変わらない | 3. 減少傾向 |
|---------|----------|---------|



直近5年における業績の推移については、「減少傾向」と回答した企業が67%となっている。次いで、「変わらない」19%、「増加傾向」14%となっている。



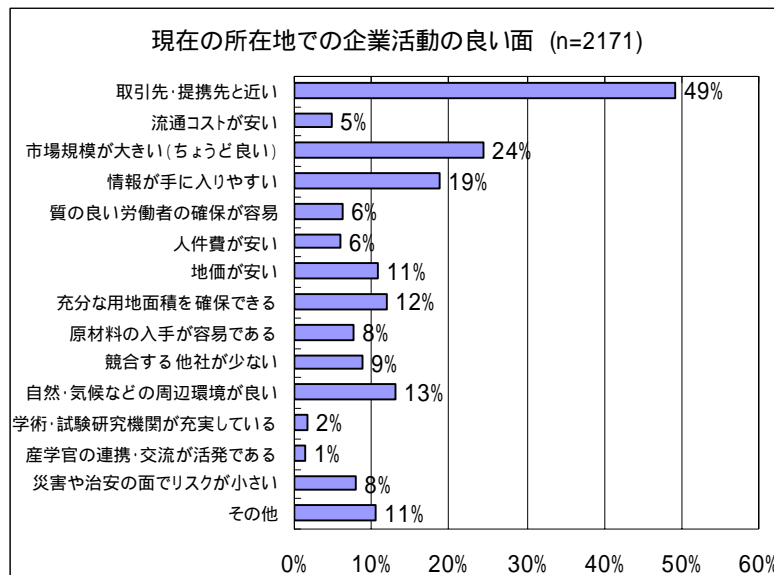
直近5年における業績の推移が「増加傾向」と回答した割合が高い業種は、食品製造業、医療・福祉サービス業、情報通信業などとなっている。

逆に、「減少傾向」と回答した割合が高い業種は、印刷・同関連製造業、金属製品製造業、建設業などとなっている。

## 【 所在地における企業活動の良い面、悪い面】

問 2 - 1 貴社が現在の所在地で企業活動を実施するにあたり良い面は何ですか。( 〃は3つまで)

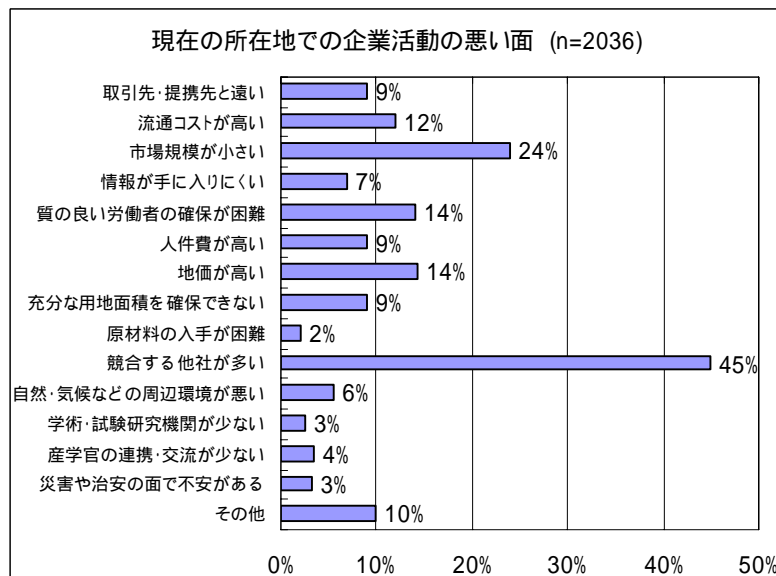
1. 取引先・提携先と近い
2. 流通コストが安い
3. 市場規模が大きい(ちょうどよい)
4. 情報が手に入りやすい
5. 質の良い労働者の確保が容易
6. 人件費が安い
7. 地価が安い
8. 十分な用地面積を確保できる
9. 原材料の入手が容易である
10. 競合する他社が少ない
11. 自然・気候などの周辺環境が良い
12. 学術・試験研究機関が充実している
13. 産学官の連携・交流が活発である
14. 災害や治安の面でリスクが小さい
15. その他( )



現在の所在地での企業活動の良い面としては、「取引先・提携先と近い」と回答した企業が49%を占めている。次いで「市場規模が大きい(ちょうどよい)」、「情報が手に入りやすい」の割合が高くなっている。

問 2 - 2 貴社が現在の所在地で企業活動を実施するにあたり悪い面は何ですか。( 〃は3つまで)

1. 取引先・提携先と遠い
2. 流通コストが高い
3. 市場規模が小さい
4. 情報が手に入りにくい
5. 質の良い労働者の確保が困難
6. 人件費が高い
7. 地価が高い
8. 十分な用地面積を確保できない
9. 原材料の入手が困難
10. 競合する他社が多い
11. 自然・気候などの周辺環境が悪い
12. 学術・試験研究機関が少ない
13. 産学官の連携・交流が少ない
14. 災害や治安の面で不安がある
15. その他( )



現在の所在地での企業活動の悪い面としては、「競合する他社が多い」と回答した企業が45%を占めている。次いで「市場規模が小さい」の割合が高くなっている。

## 【 ターゲットとしている市場 】

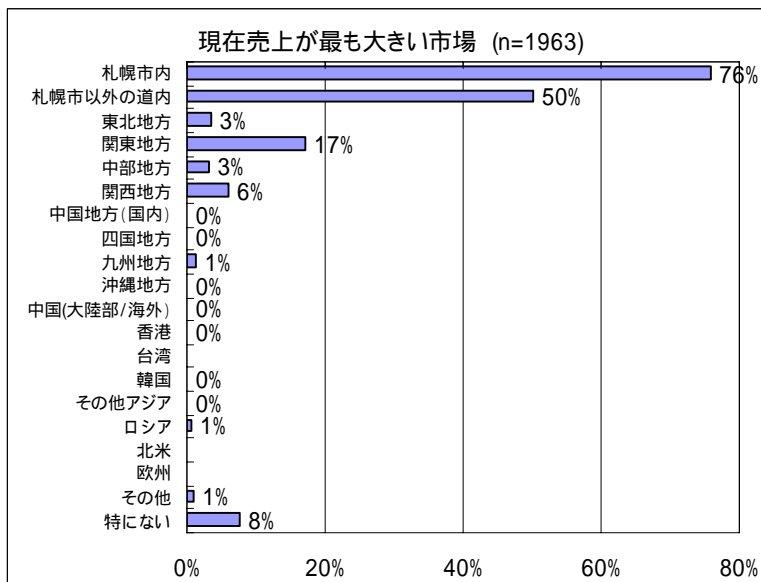
問3 下記の市場において、貴社の売上が現在最も大きい市場、今後販売強化・進出を考えている市場について、それぞれ選び番号を記入してください(それぞれ3つまで)

	番号を記入(3つまで)		
現在売上が最も大きい市場			
今後販売強化・進出を考えている市場			

以下から選んでください

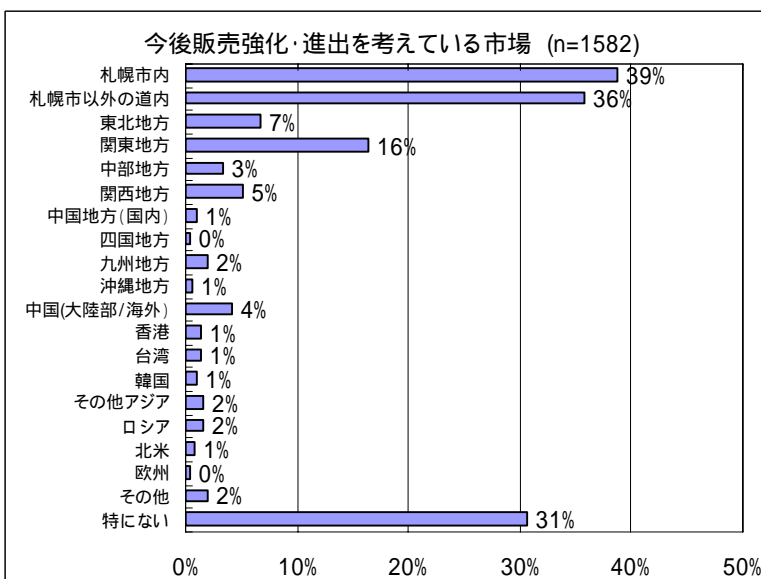


1. 札幌市内 2. 札幌市以外の道内 3. 東北地方 4. 関東地方 5. 中部地方  
 6. 関西地方 7. 中国地方(国内) 8. 四国地方 9. 九州地方 10. 沖縄地方  
 11. 中国(大陸部/海外) 12. 香港 13. 台湾 14. 韓国  
 15. その他アジア( ) 16. ロシア 17. 北米 18. 欧州  
 19. その他( ) 20. 特にな



現在売上が最も大きい市場については、「札幌市内」が76%、「札幌市以外の道内」が50%を占めている。

道外では、関東地方が17%となっているが、その他の地域は数%程度となっている。



今後販売強化・進出を考えている市場については、「札幌市内」39%、「札幌市以外の道内」36%となっている。

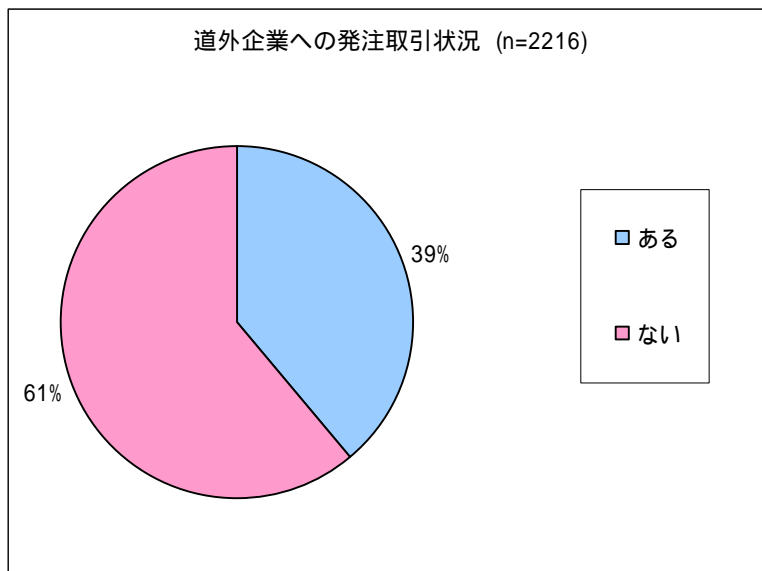
道外では、関東地方が16%、その他の地域は数%程度となっている。

## 【 企業間取引（道外への発注）の状況】

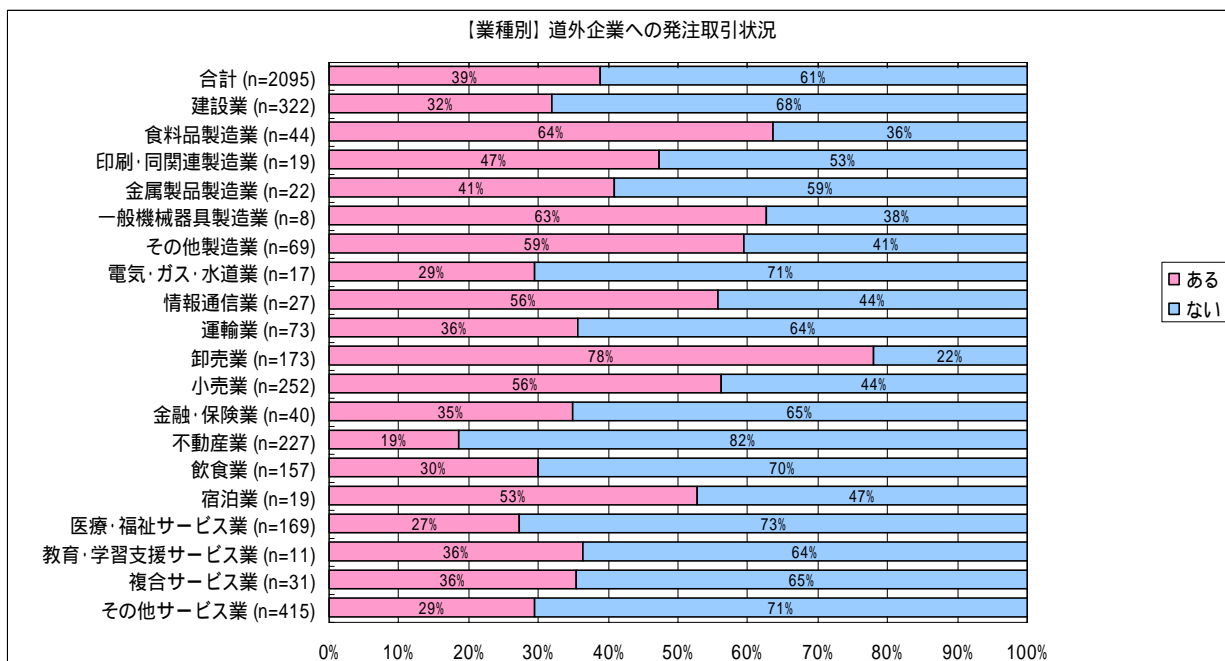
問4 - 1 貴社の企業間取引（道外への発注）状況について教えてください。貴社は道外企業への発注取引はありますか。（  は1つ）

道外企業とは、本社が道外にある企業のこと、道内に支社、支店がある場合も含まれます。

1. ある（問4 - 2へ）      2. ない（問5へ）



道外企業への発注取引が「ある」と回答した企業は39%、「ない」と回答した企業は61%となっている。



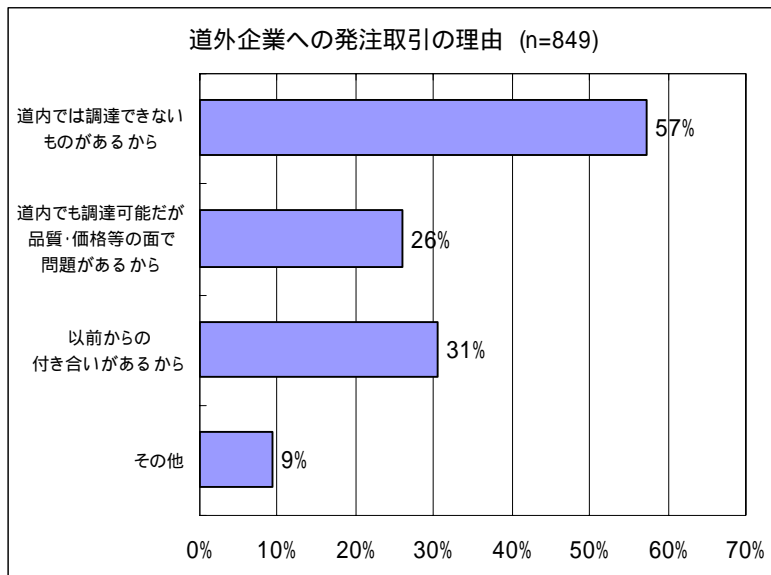
道外企業への発注取引が「ある」と回答した割合が高い業種は、卸売業、食品品製造業、一般機械器具製造業などとなっている。

逆に、道外企業への発注取引が「ない」と回答した割合が高い業種は、不動産業、医療・福祉サービス業などとなっている。



問4 - 2 問4 - 1で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください  
( は2つまで)

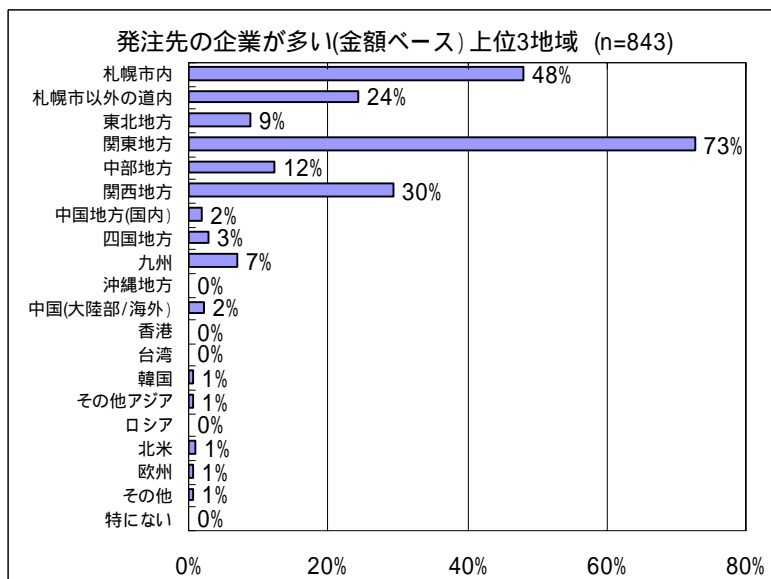
1. 道内では調達できないものがあるから  
2. 道内でも調達可能だが品質・価格等の面で問題があるから  
3. 以前からの付き合いがあるから 4. その他 ( )



道外企業への取引の理由については、「道内では調達できないものがあるから」と回答した企業の割合が最も高く、57%となっている。次いで、「以前からの付き合いがあるから」31%、「道内でも調達可能だが、品質・価格等の面で問題があるから」26%となっている。

問4 - 3 同じく問4 - 1で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。発注先の企業が多い(金額ベース)上位3地域を教えてください。( は3つまで)

1. 札幌市内 2. 札幌市以外の道内 3. 東北地方 4. 関東地方 5. 中部地方  
6. 関西地方 7. 中国地方(国内) 8. 四国地方 9. 九州 10. 沖縄地方  
11. 中国(大陸部/海外) 12. 香港 13. 台湾 14. 韓国 15. その他アジア ( )  
16. ロシア 17. 北米 18. 欧州 19. その他 ( ) 20. 特にない



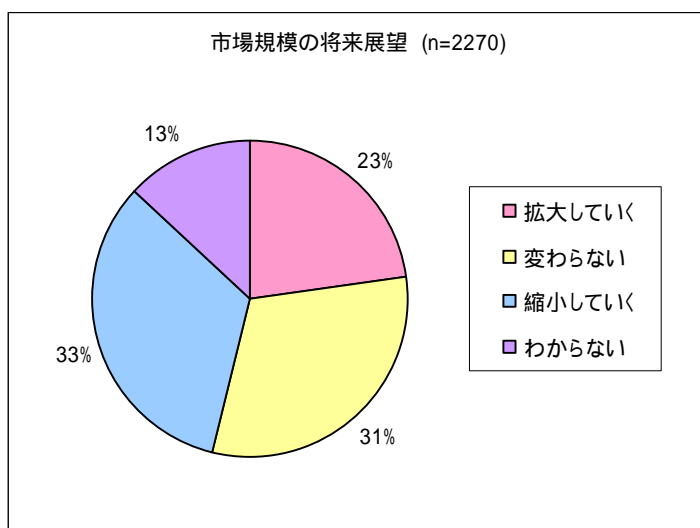
発注先の企業が多い地域については、「関東地方」が73%を占め、次いで「札幌市内」48%、「関西地方」30%となっている。

## ・今後の事業展開に係る基本的な方向性について

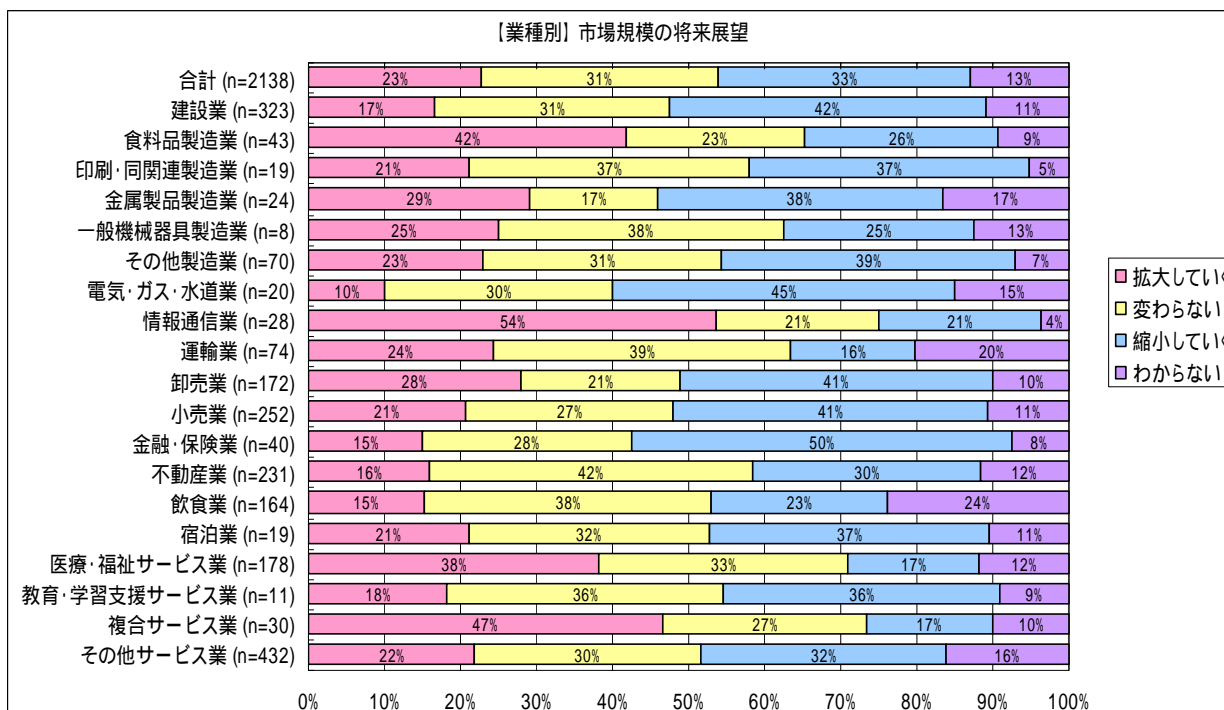
### 【 既存事業分野の将来性 】

問5 貴社が現在取り組んでいる事業分野について、市場規模の将来展望を教えてください。  
( 〃 は1つ )

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 拡大していく | 2. 変わらない | 3. 縮小していく |
| 4. わからない  |          |           |



市場規模の将来展望については、「縮小していく」33%、「変わらない」31%、「拡大していく」23%の順に回答した企業の割合が高くなっている。

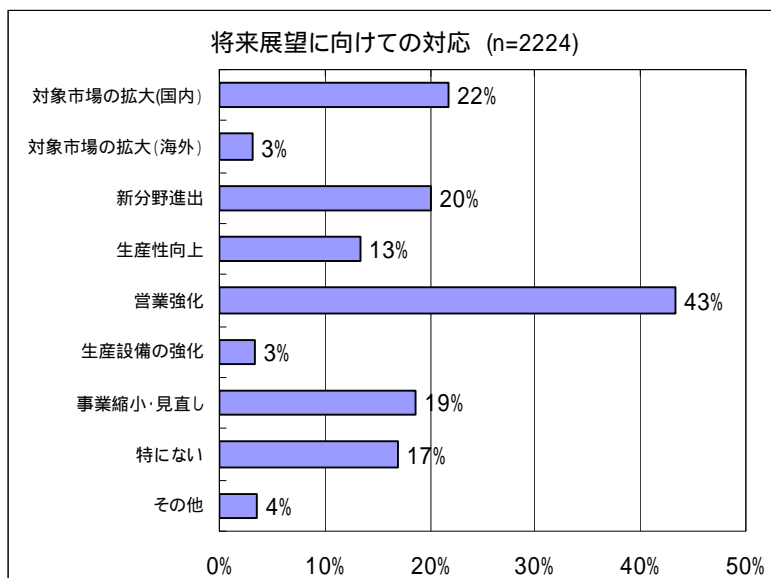


市場規模が「拡大していく」と回答した企業の割合が高い業種は、情報通信業、複合サービス業、食料品製造業などとなっている。

逆に、市場規模が「縮小していく」と回答した企業の割合が高い業種は、金融・保険業、電気・ガス・水道業、建設業、卸売業などとなっている。

問6 問5を踏まえて、貴社はどのような対応を検討していますか。( \_\_は2つまで)

- |                |                |             |          |
|----------------|----------------|-------------|----------|
| 1. 対象市場の拡大(国内) | 2. 対象市場の拡大(海外) | 3. 新分野進出    | 4. 生産性向上 |
| 5. 営業強化        | 6. 生産設備の強化     | 7. 事業縮小・見直し | 8. 特にない  |
| 9. その他( )      |                |             |          |



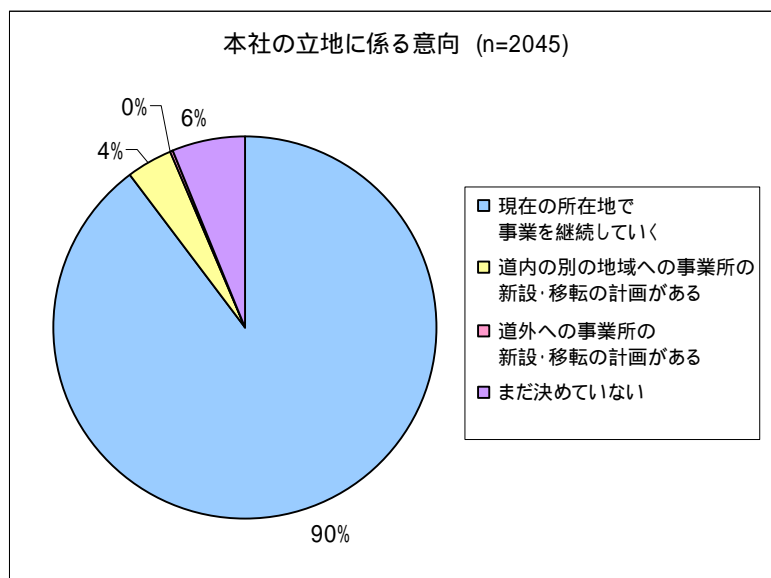
将来展望に向けての対応については、「営業強化」と回答した企業が43%を占め、次いで「対象市場の拡大(国内)」22%、「新分野進出」20%となっている。

【 立地に係る意向】

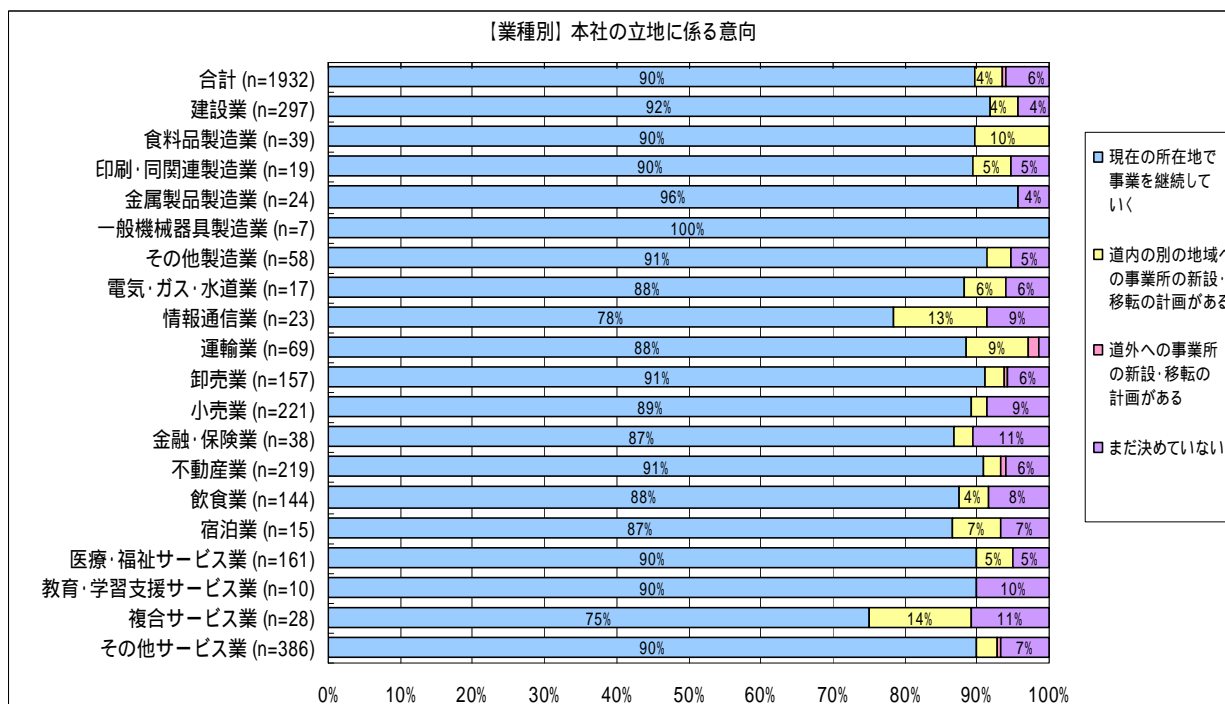
貴社の所在地(当アンケート送付先)に、本社機能を持つ事業者様のみお答えください。

問7 - 1 貴社の立地に係る意向を教えてください。( 〃は1つ)

1. 現在の所在地で事業を継続していく(問8 - 1にお進みください)
2. 道内の別の地域への事業所の新設・移転の計画がある(問7 - 2にお進みください)
3. 道外への事業所の新設・移転の計画がある(問7 - 2にお進みください)
4. まだ決めていない(問7 - 3にお進みください)



本社の立地に係る意向については、「現在の所在地で事業を継続していく」と回答した企業が90%を占め、その他は数%程度にとどまっている。

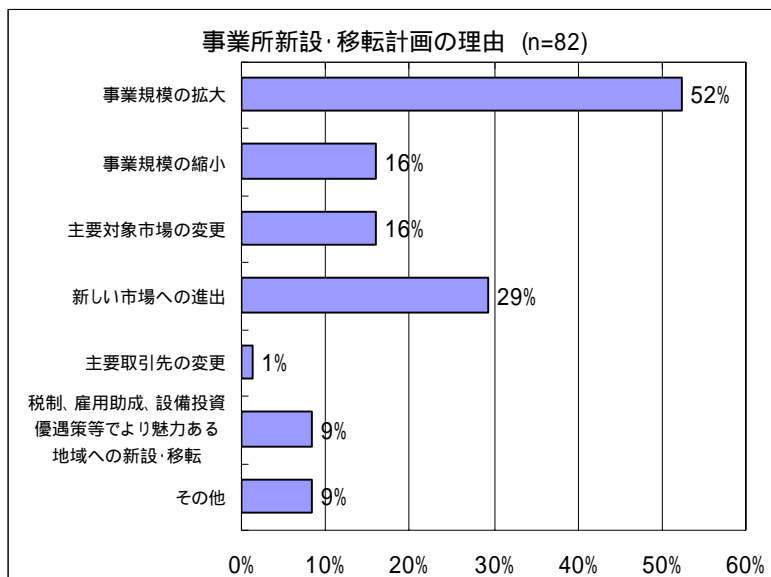


「道内の別の地域への事業所の新設・移転の計画がある」と回答した企業の割合が高い業種は、複合サービス業で14%、情報通信業で13%となっている。

「道外への事業所の新設・移転の計画がある」と回答した業種は、運輸業、卸売業、不動産業、その他サービス業となっている。

問7-2 問7-1で「2. 道内の別の地域への事業所の新設・移転の計画がある」「3. 道外への事業所の新設・移転の計画がある」と回答した方にお尋ねします。その理由について教えてください。（は3つまで）

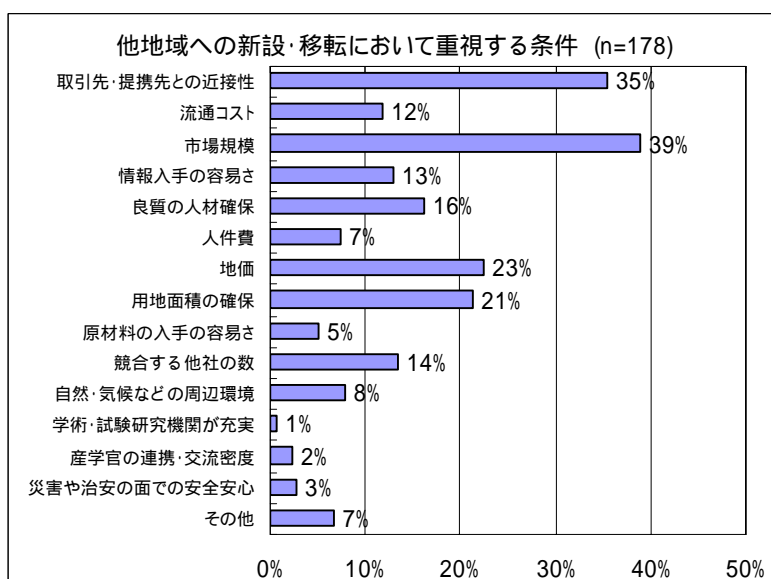
1. 事業規模の拡大 2. 事業規模の縮小 3. 主要対象市場の変更 4. 新しい市場への進出  
5. 主要取引先の変更  
6. 税制、雇用助成、設備投資優遇策等でより魅力ある地域への新設・移転 7. その他（ ）



事業所新設・移転計画の理由については、「事業規模の拡大」52%、「新しい市場への進出」29%の順に回答した企業の割合が高くなっている。

問7-3 問7-1で「2. 道内の別の地域への事業所の新設・移転の計画がある」「3. 道外への事業所の新設・移転の計画がある」「4. まだ決めていない」と回答した方にお尋ねします。他地域への新設・移転を検討する上で最も重視する条件を教えてください。（は3つまで）

1. 取引先・提携先との近接性 2. 流通コスト 3. 市場規模 4. 情報入手の容易さ  
5. 良質の人材確保 6. 人件費 7. 地価 8. 用地面積の確保 9. 原材料の入手の容易さ  
10. 競合する他社の数 11. 自然・気候などの周辺環境 12. 学術・試験研究機関が充実  
13. 産学官の連携・交流密度 14. 災害や治安の面での安全安心 15. その他（ ）

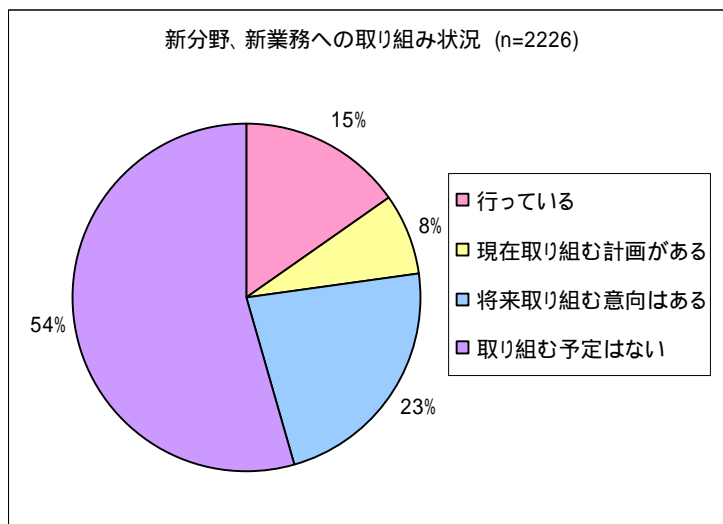


他地域への新設・移転において重視する条件については、「市場規模」39%、「取引先・提携先との近接性」35%、「地価」23%、「用地面積の確保」21%の順に回答した企業の割合が高くなっている。

## 【 新分野進出の意向】

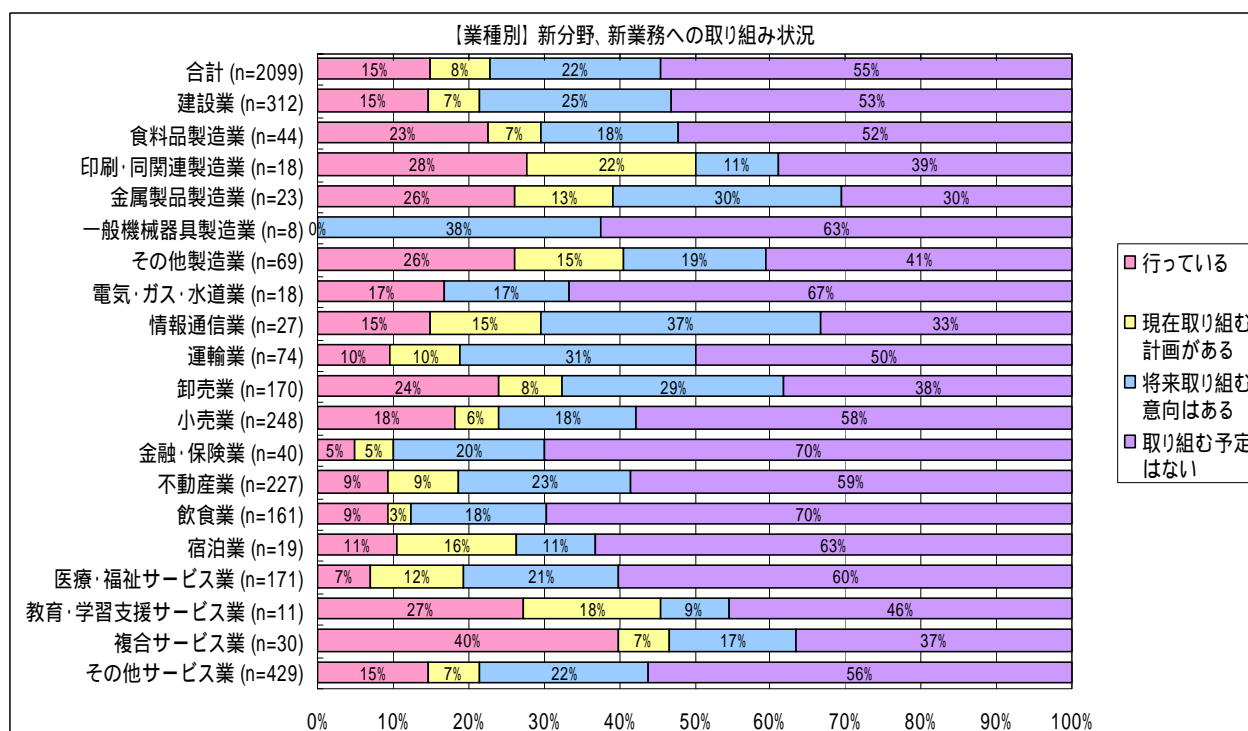
問 8 - 1 現在、貴社は新分野、新業務への取り組みを行っていますか。（  は1つ）

1. 行っている 2. 現在取り組む計画がある  
3. 将来取り組む意向はある（1.～3. 問 8 - 2 へ） 4. 取り組む予定はない（問 8 - 6 へ）



新分野、新業務への取り組み状況については、「取り組む予定はない」と回答した企業が54%を占めている。

「行っている」と回答した企業は15%、「現在取り組む計画がある」、「将来取り組む意向はある」と回答した企業を合わせると30%程度となっている。



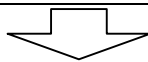
新分野、新業務への取り組みを「行っている」と回答した企業の割合が高い業種は、複合サービス業、教育・学習支援サービス業、印刷・同関連製造業などとなっている。

逆に、「取り組む予定はない」と回答している企業の割合が高い業種は、金融・保険業、飲食業、電気・ガス・水道業、一般機械器具製造業、宿泊業などとなっている。

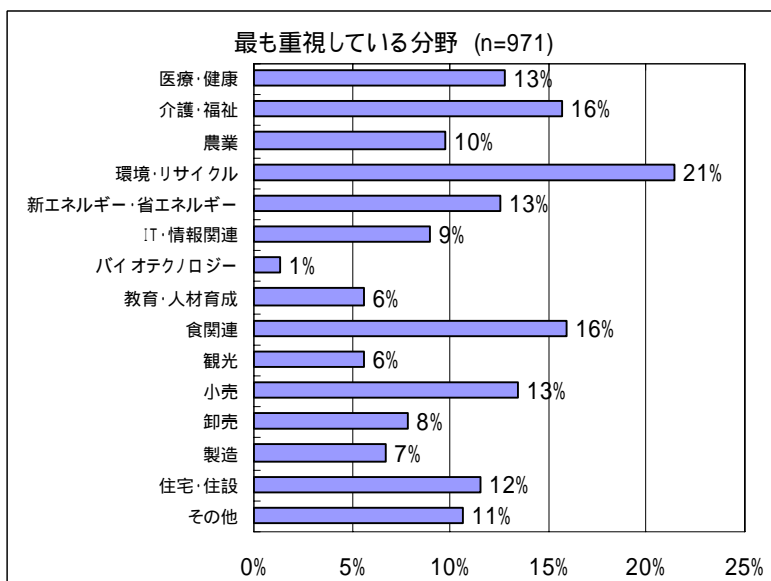
問8 - 2 問8 - 1で「1. 行っている」「2. 取り組む計画がある」「3. 取り組む意向はある」と回答した方にお尋ねします。最も重視している分野を選んでください。( 〃は3つまで)

1. 医療・健康 2. 介護・福祉 3. 農業 4. 環境・リサイクル 5. 新エネルギー・省エネルギー  
 6. IT・情報関連 7. バイオテクノロジー 8. 教育・人材育成 9. 食関連 10. 観光  
 11. 小売 12. 卸売 13. 製造 14. 住宅・住設 15. その他( )

差し支えなければ、事業内容をご記入ください

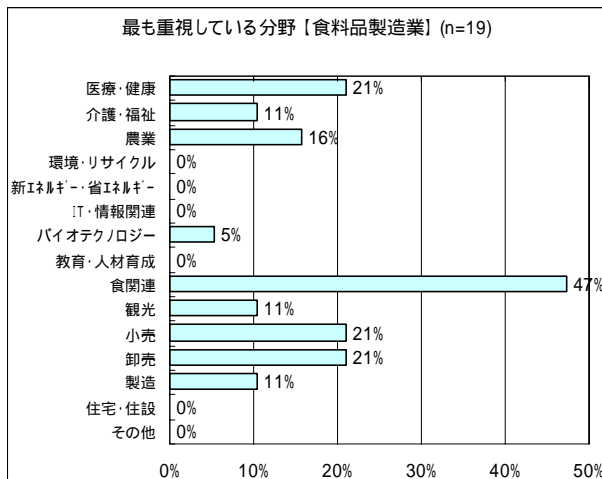
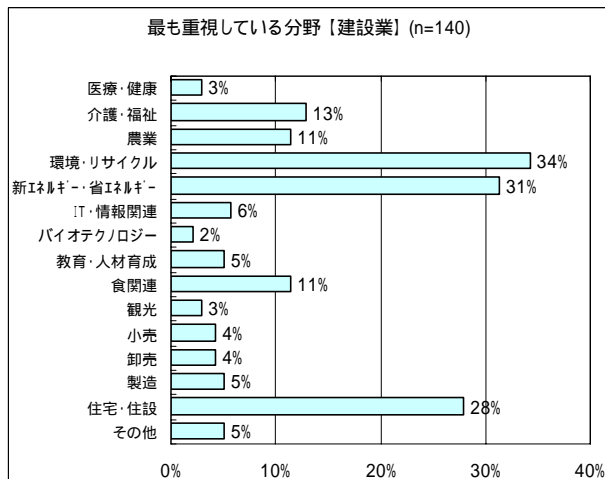


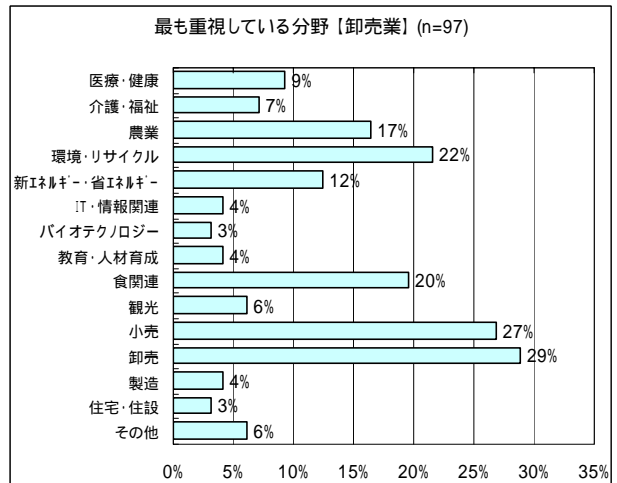
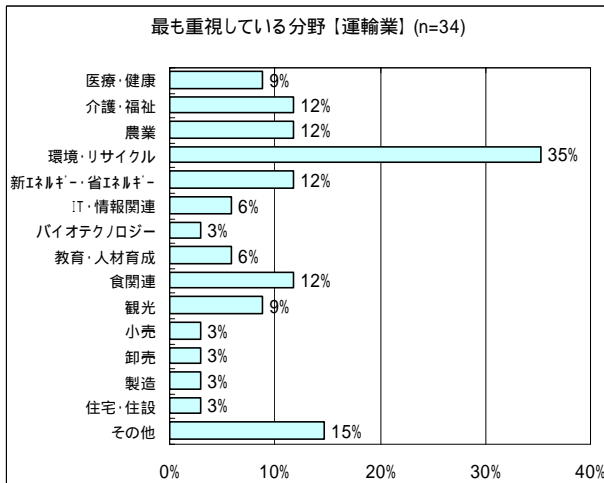
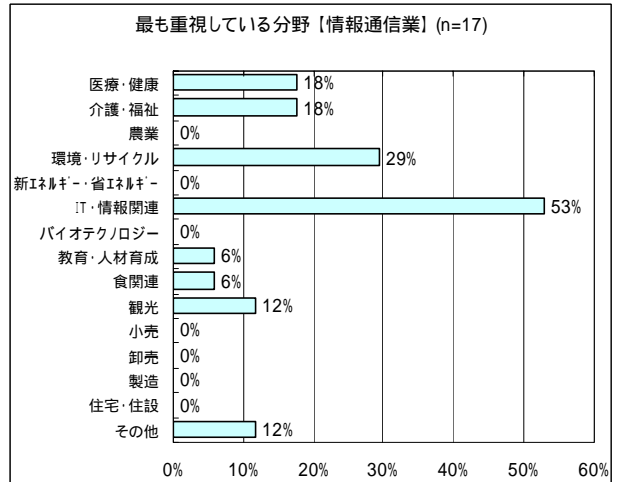
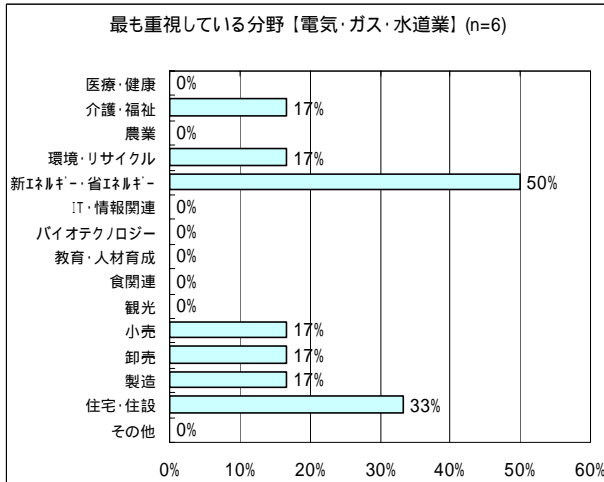
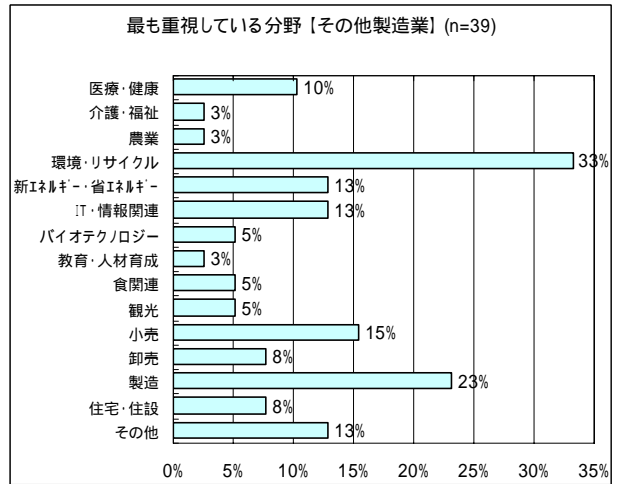
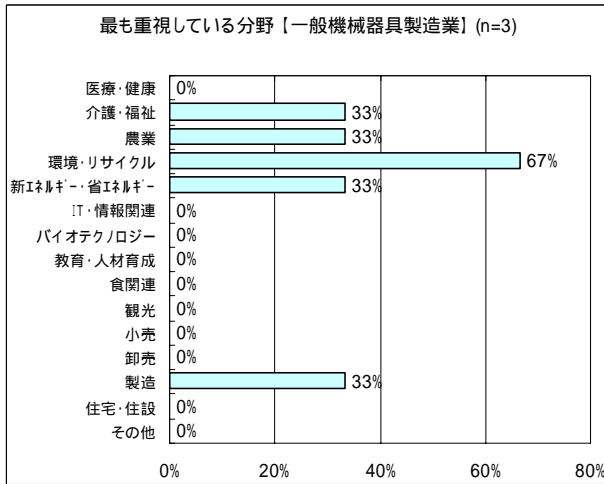
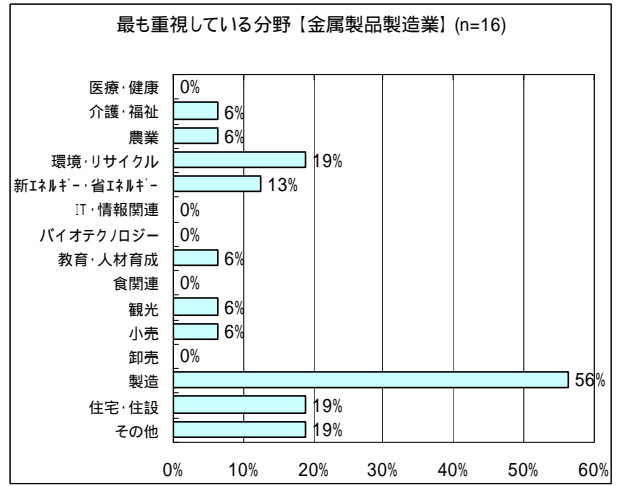
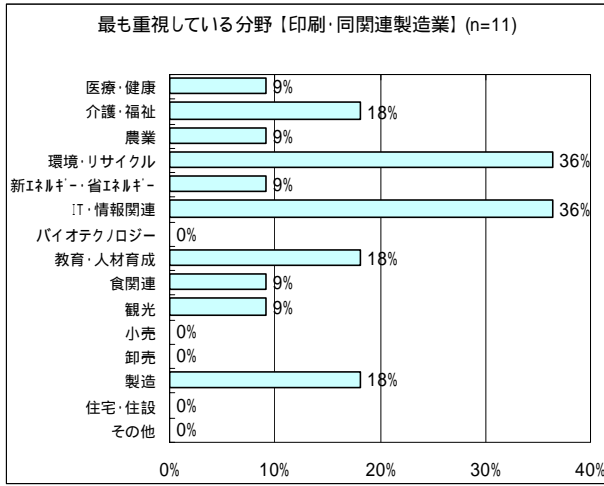
【全業種】



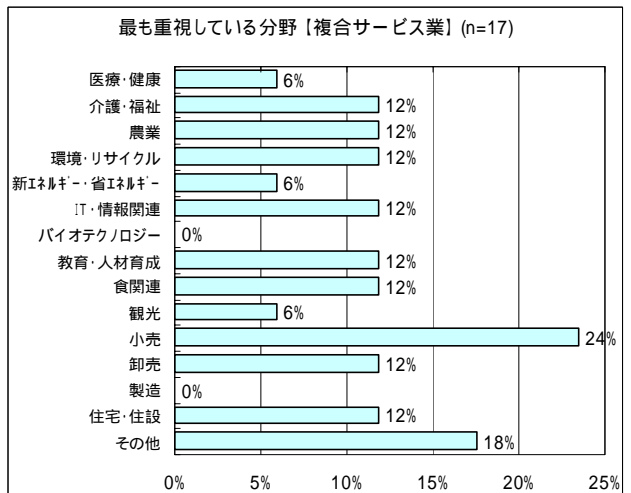
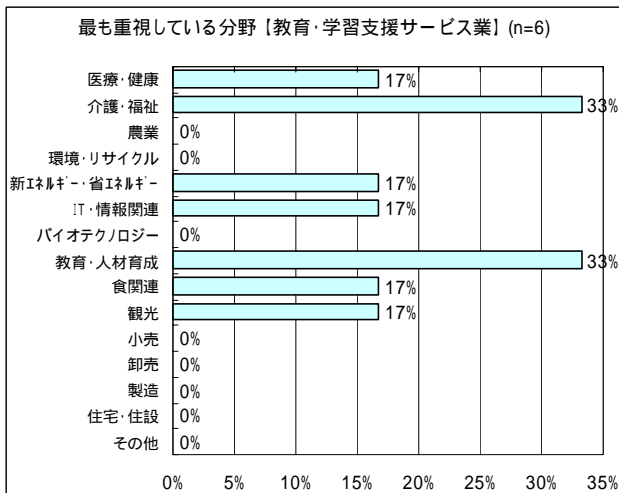
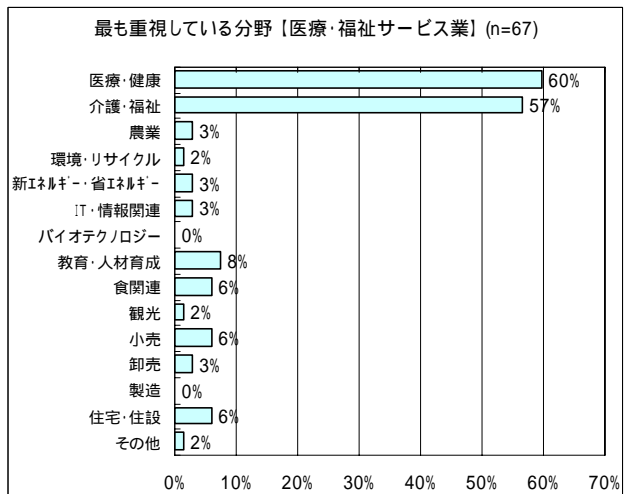
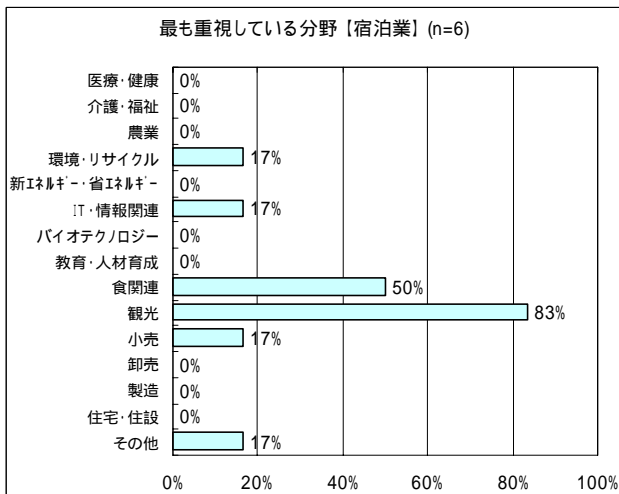
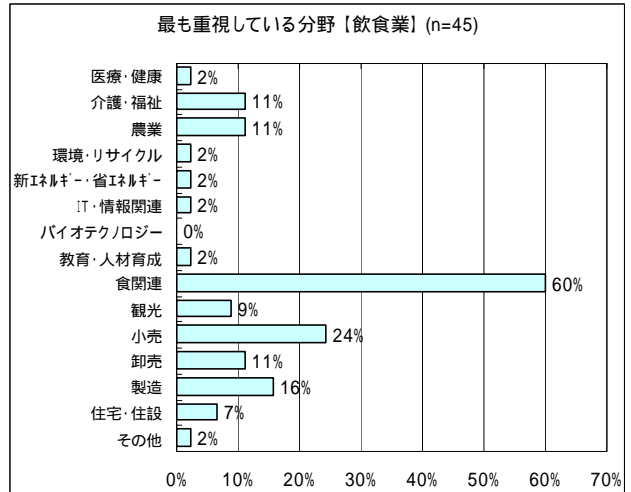
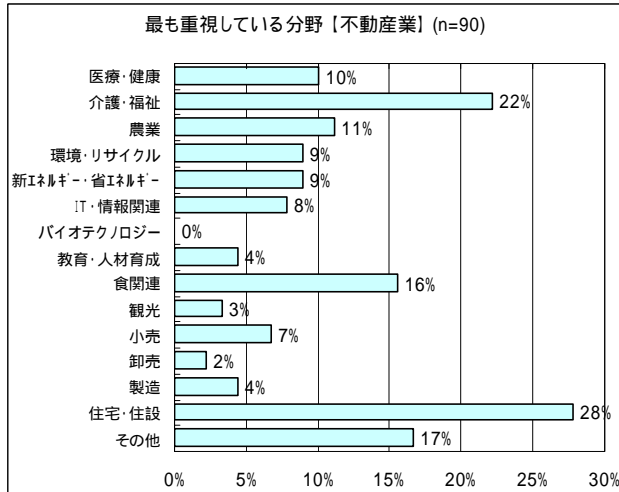
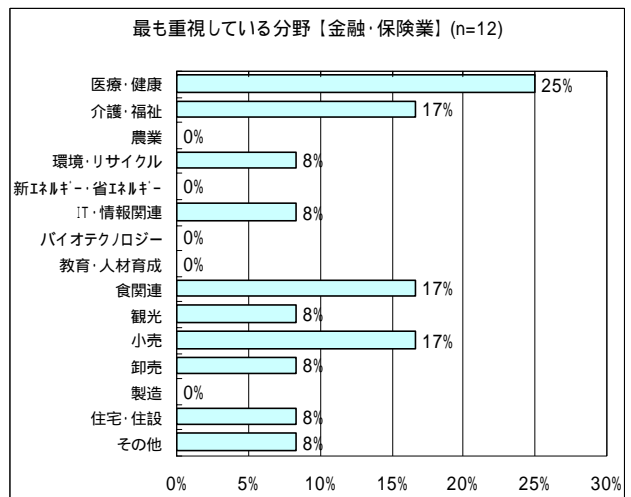
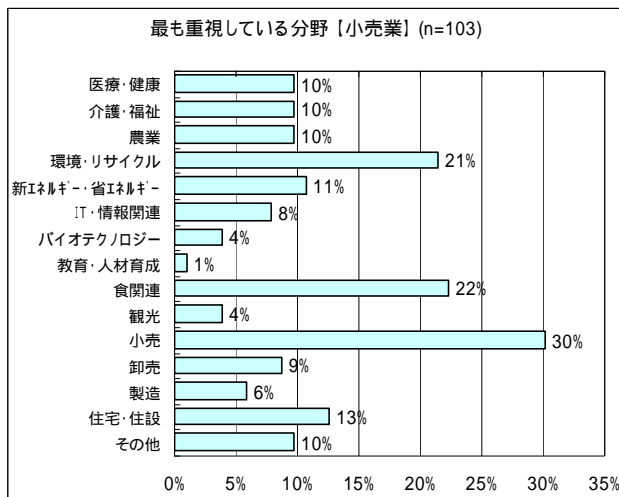
最も重視している分野については、「環境・リサイクル」と回答した企業の割合が最も高く、21%となっている。次いで、「介護・福祉」、「食関連」が16%、「医療・福祉」、「新エネルギー・省エネルギー」、「小売」が13%となっている。

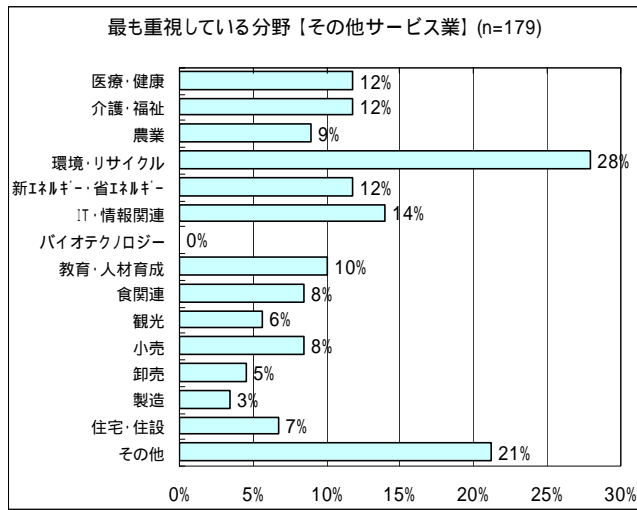
【業種別集計】





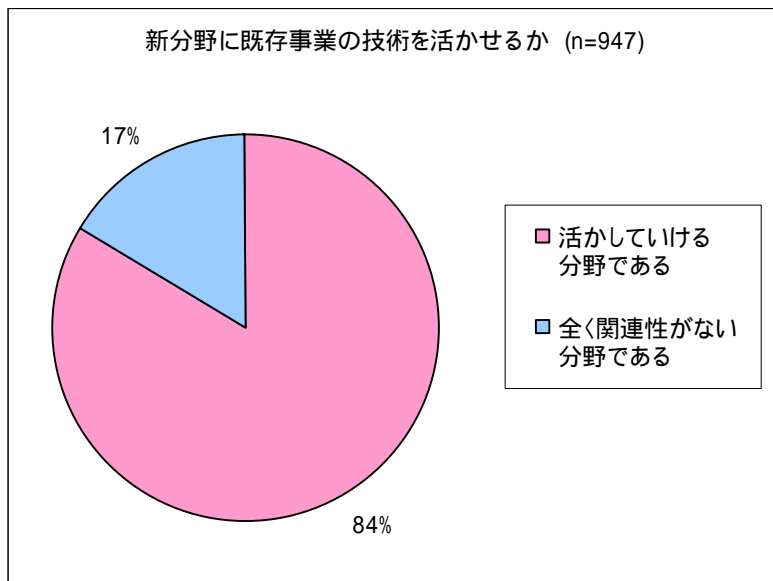




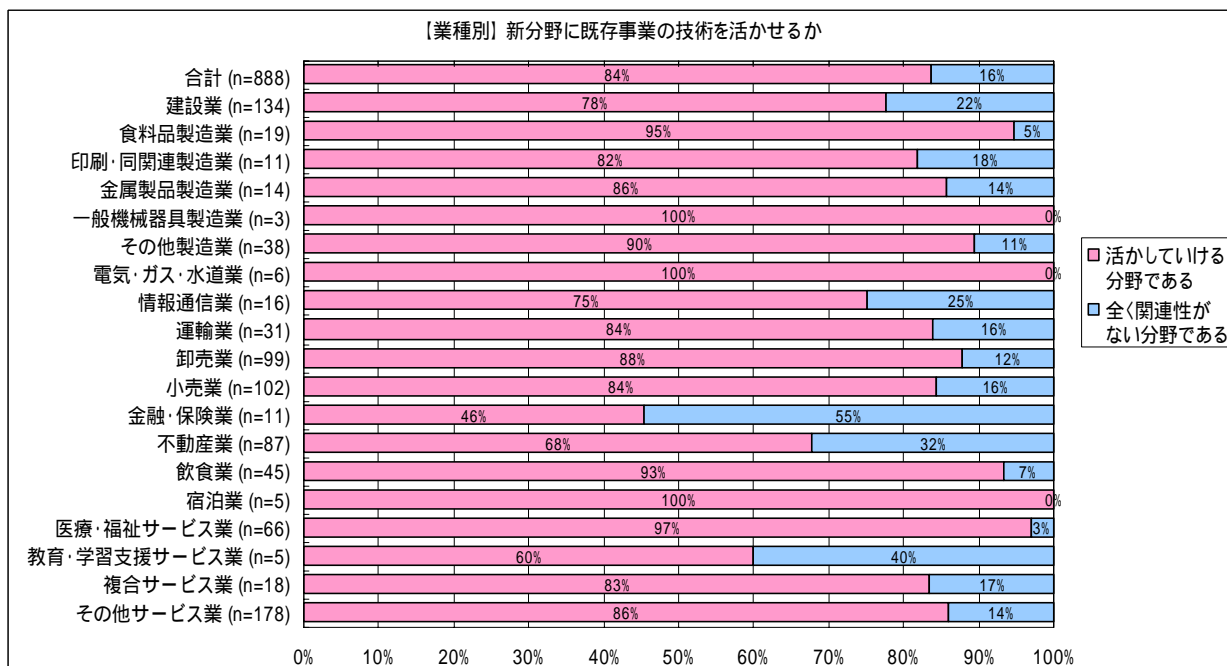


問8 - 3 問8 - 2で選んだ新分野は、貴社の既存事業から得た技術やノウハウを活かせる分野ですか。( は1つ)

1. 活かしていける分野である(問8 - 4へ)
2. 全く関連性がない分野である(問8 - 5へ)



新分野に既存事業の技術を活かせるかについては、「活かしていける分野である」と回答した企業が84%、「全く関連性がない分野である」が17%となっている。



新分野に既存事業の技術を「活かしていける分野である」と回答した企業の割合が高い業種は、宿泊業、電気・ガス・水道業、一般機械器具製造業、医療・福祉サービス業、食品製造業などとなっている。

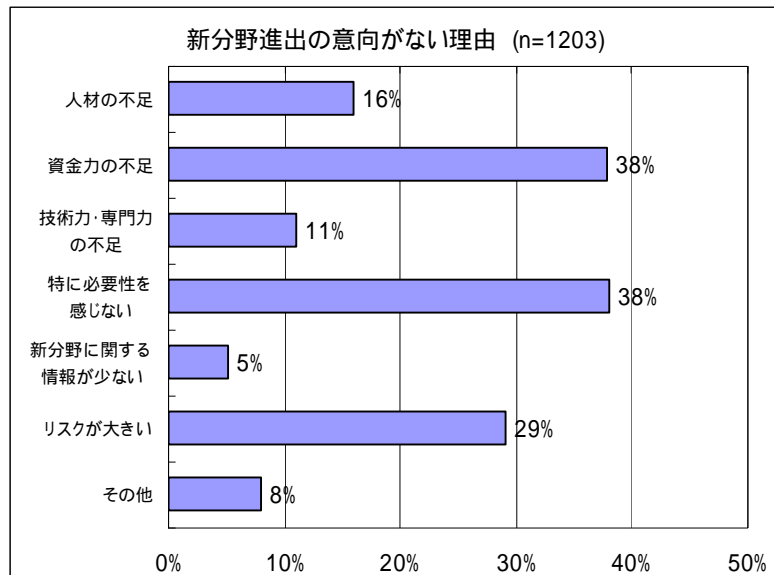
「全く関連性がない分野である」と回答した企業の割合が高い業種は、金融・保険業、教育・学習支援サービス業、不動産業などとなっている。



問8 - 6 問8 - 1で「4.取り組む予定はない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください。（は2つまで）

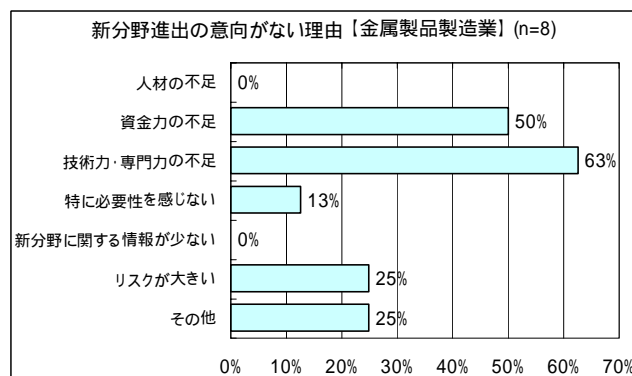
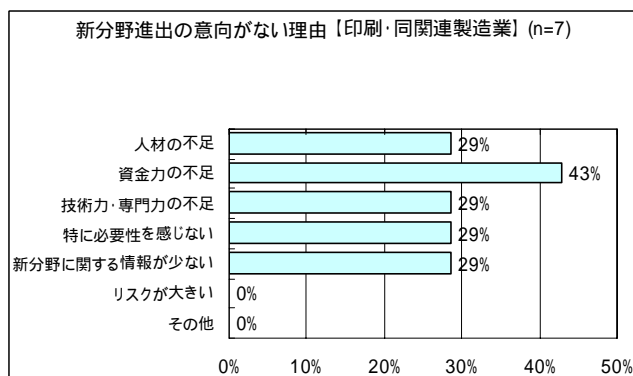
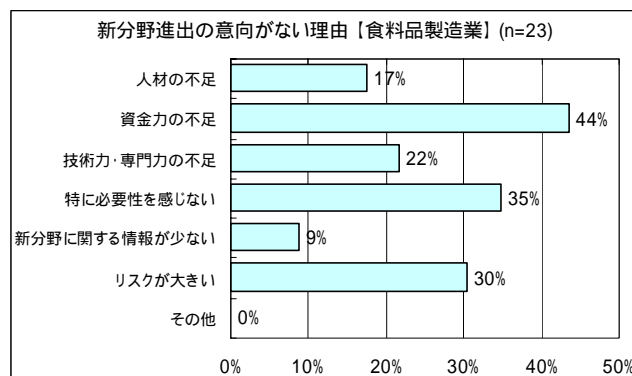
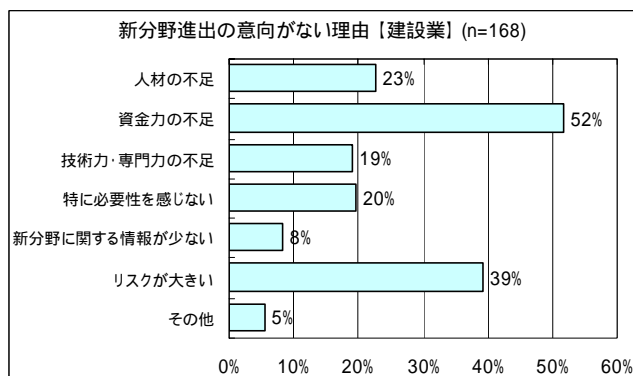
1. 人材の不足 2. 資金力の不足 3. 技術力・専門力の不足 4. 特に必要性を感じない  
5. 新分野に関する情報が少ない 6. リスクが大きい 7. その他（ ）

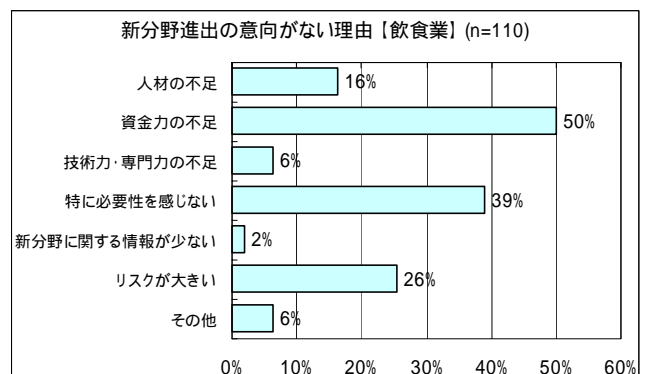
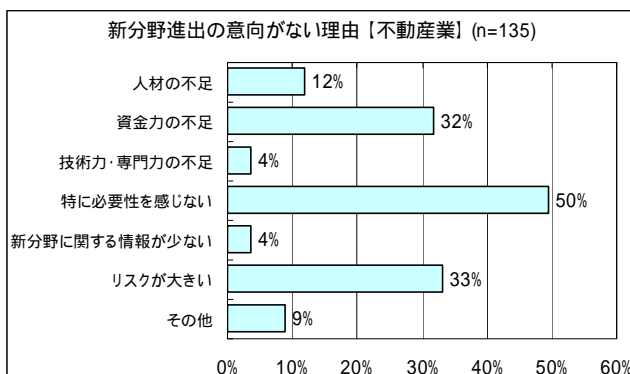
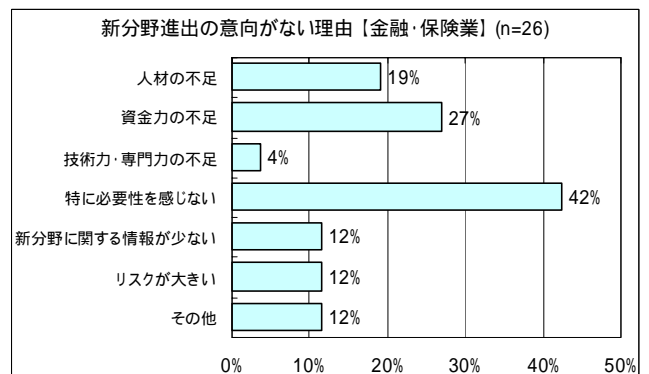
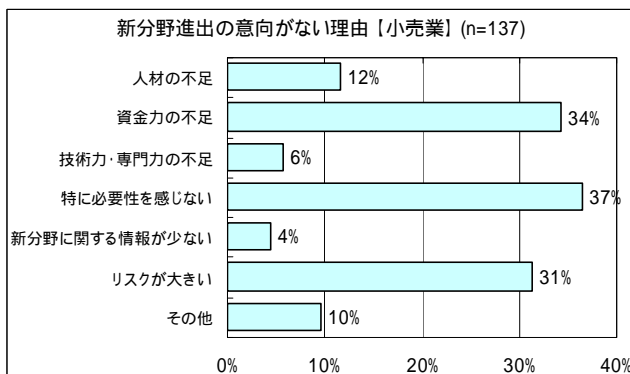
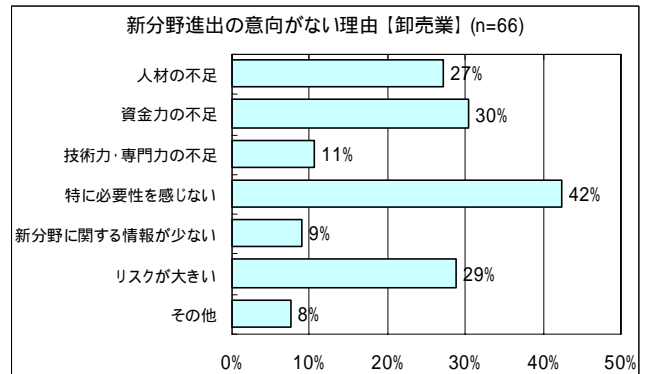
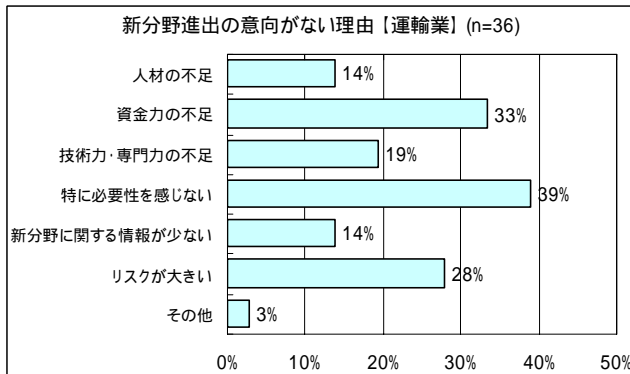
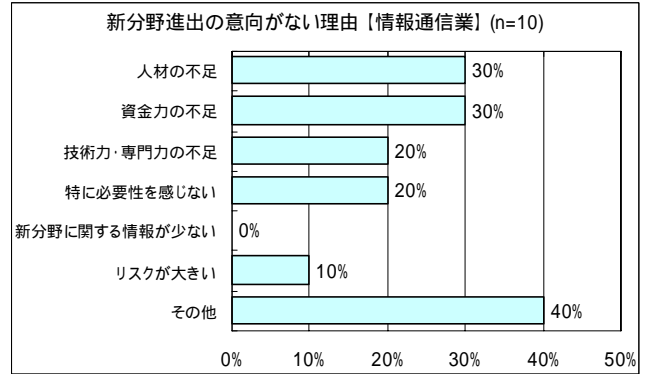
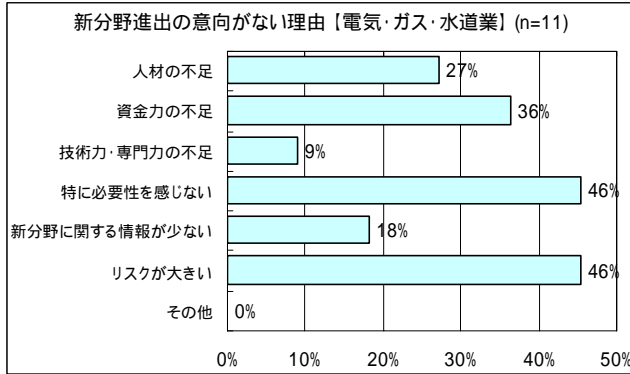
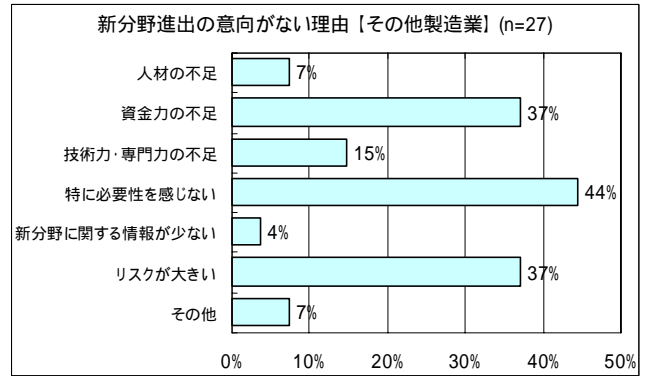
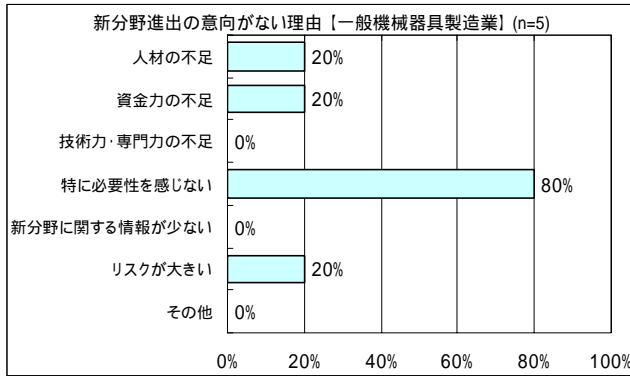
【全業種】

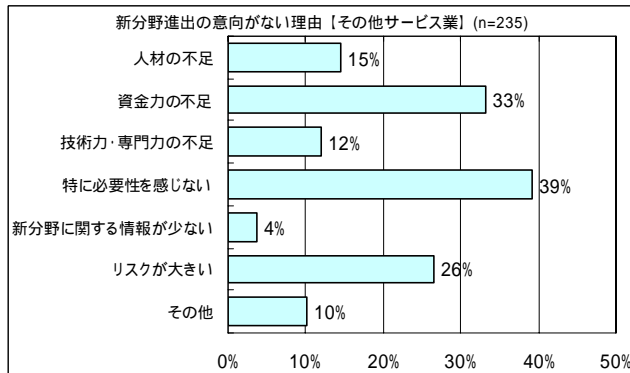
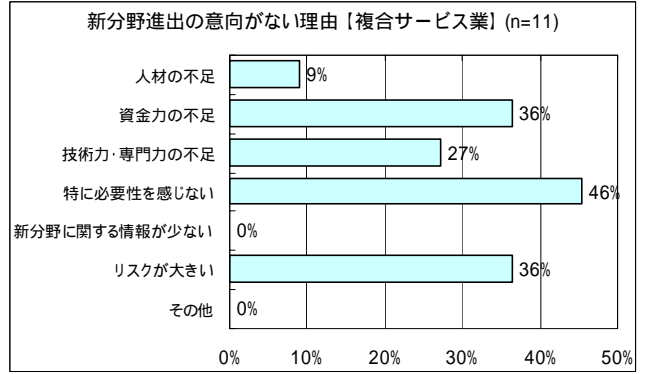
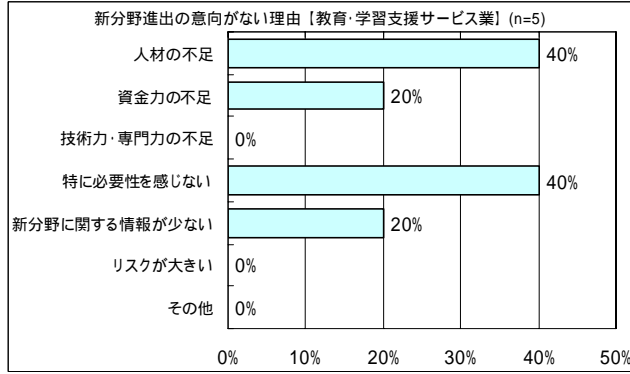
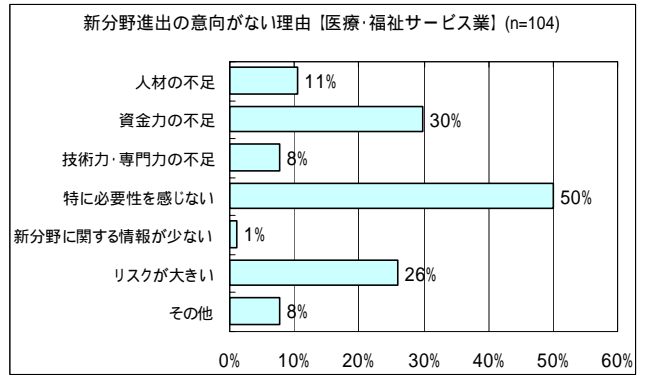
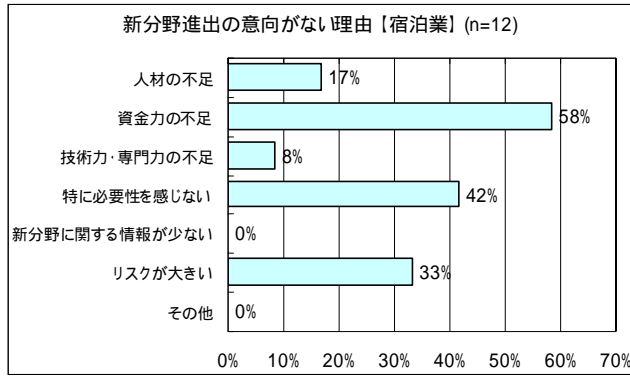


新分野進出の意向がない理由については、「資金力の不足」、「特に必要性を感じない」と回答した企業の割合が38%となっている。次いで、「リスクが大きい」29%の割合が高くなっている。

【業種別】





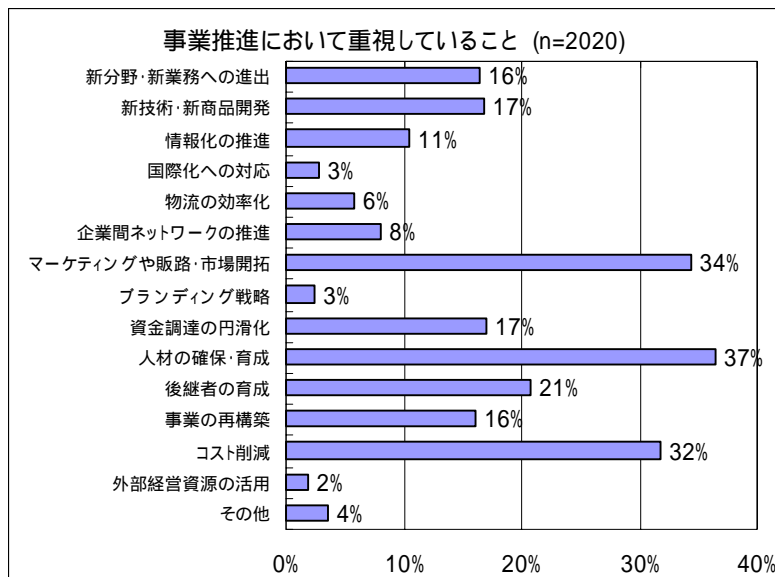


・事業展開の現状、将来の方向性を踏まえて

問9 貴社の事業推進にあたり、重視していることを教えてください。( 〃は3つまで)

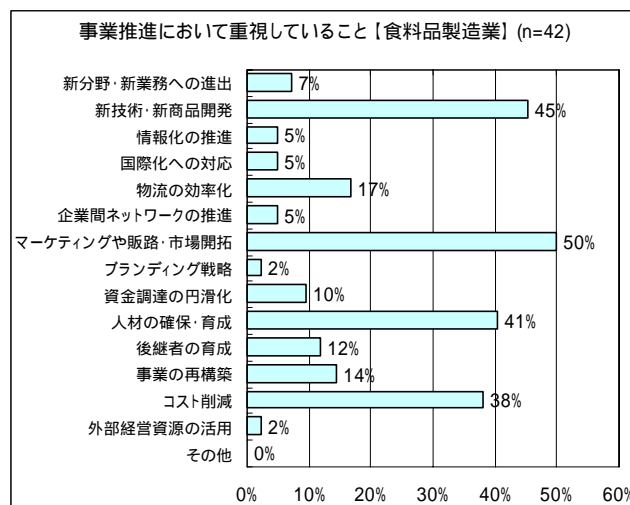
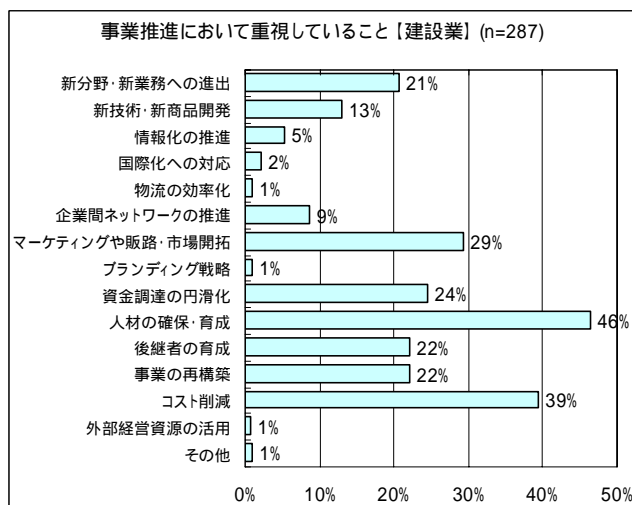
1. 新分野・新業務への進出 2. 新技術・新商品開発 3. 情報化の推進 4. 国際化への対応  
 5. 物流の効率化 6. 企業間ネットワークの推進 7. マーケティングや販路・市場開拓  
 8. ブランディング戦略 9. 資金調達円滑化 10. 人材の確保・育成 11. 後継者の育成  
 12. 事業の再構築 13. コスト削減 14. 外部経営資源の活用 15. その他( )

【全業種】

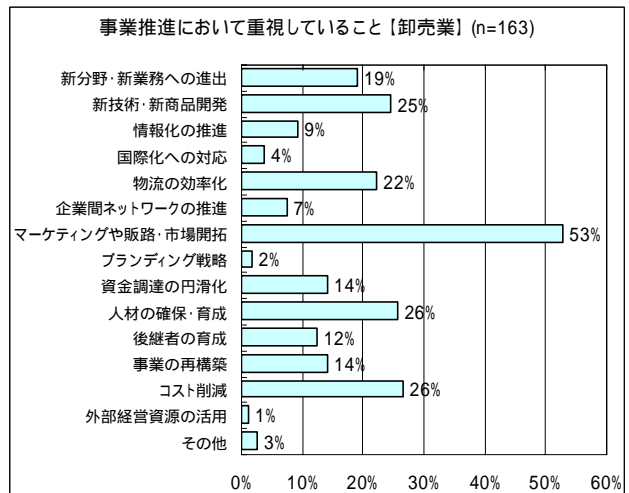
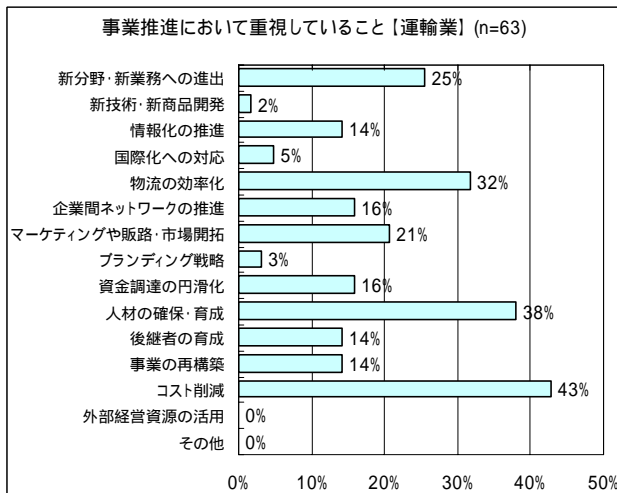
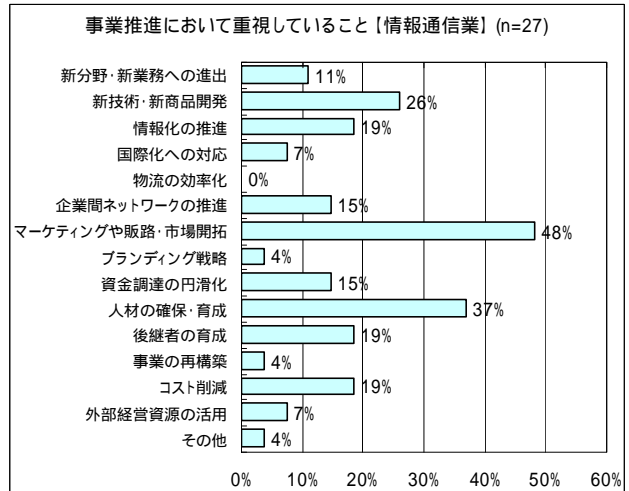
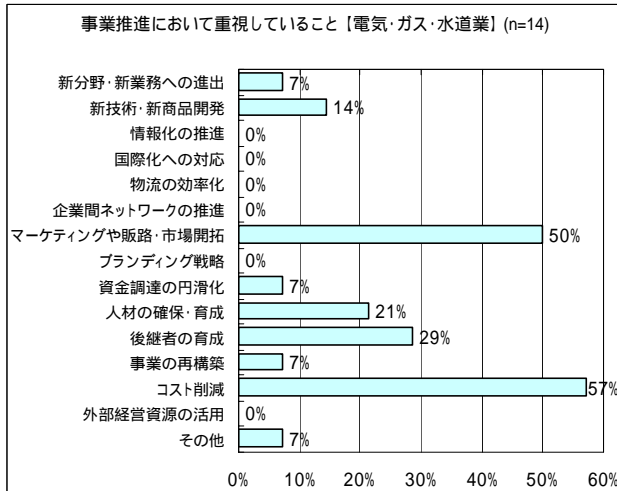
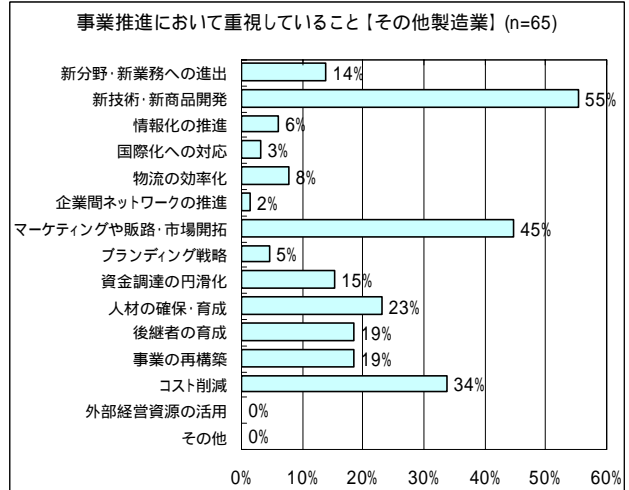
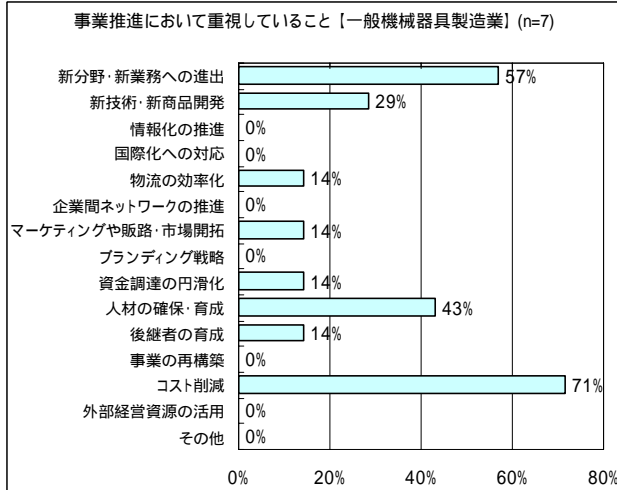
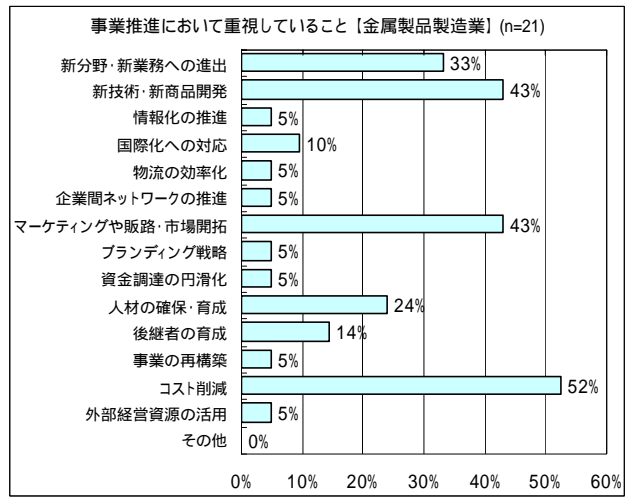
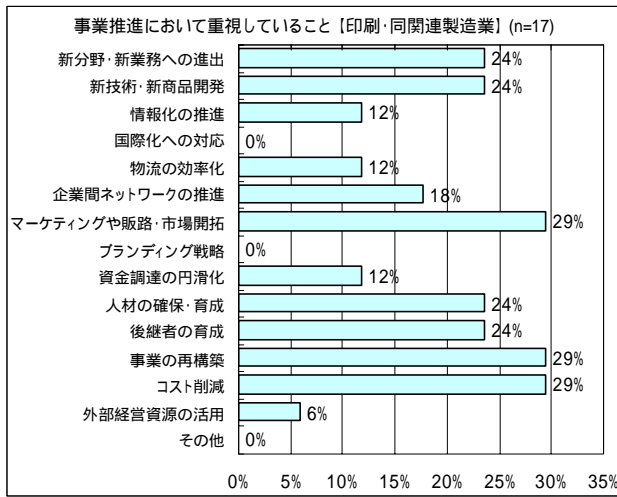


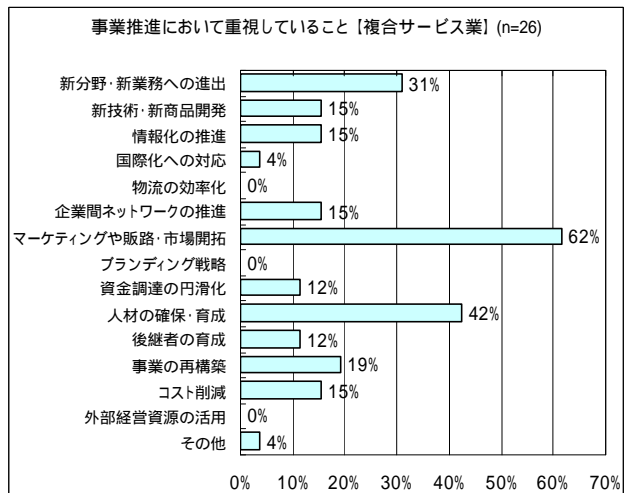
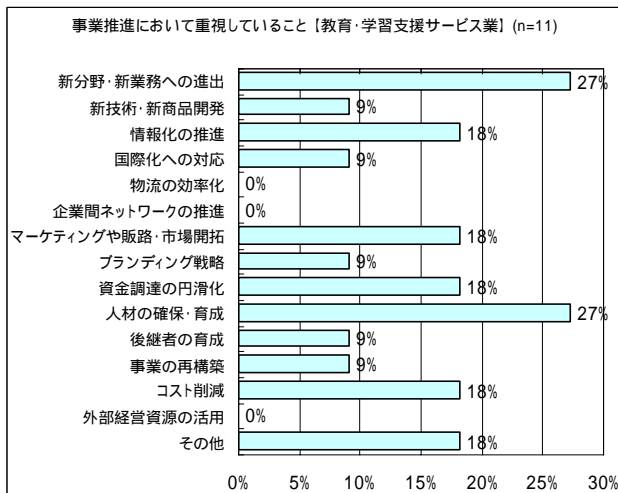
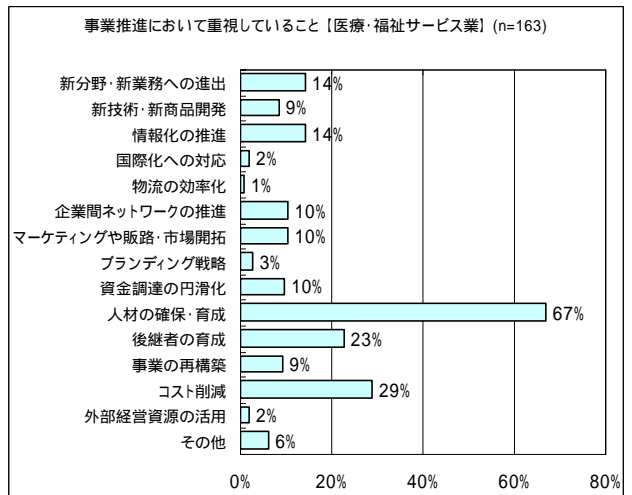
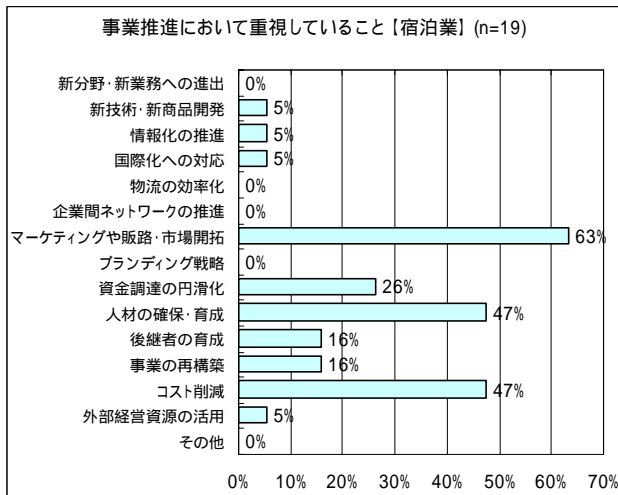
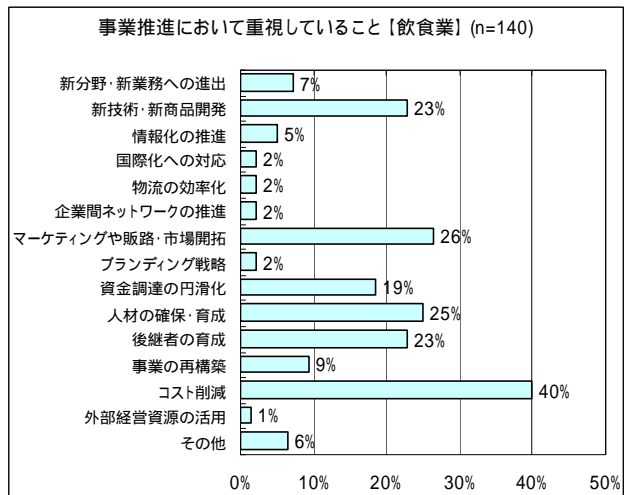
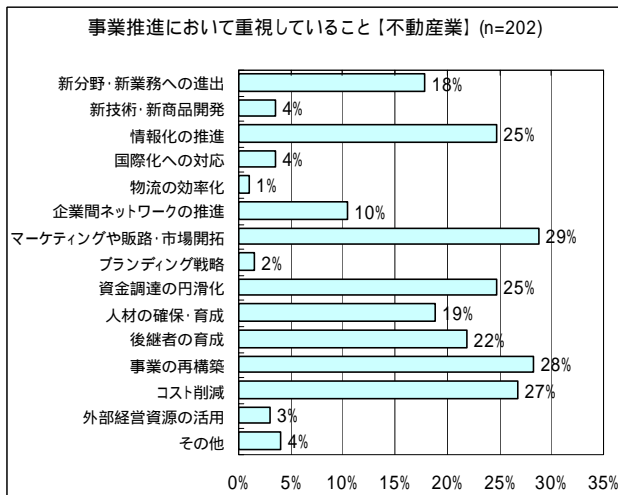
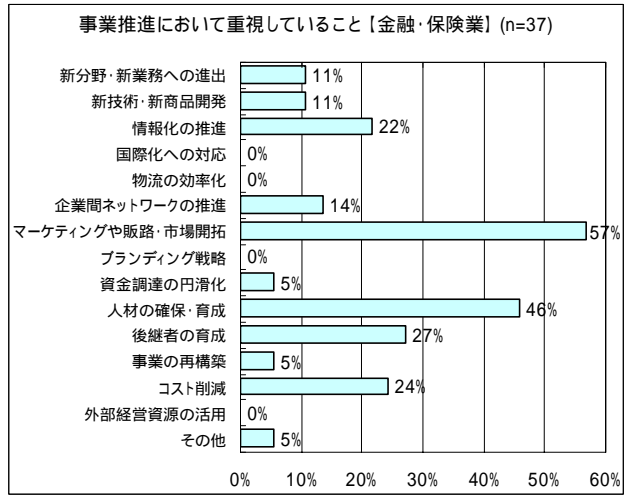
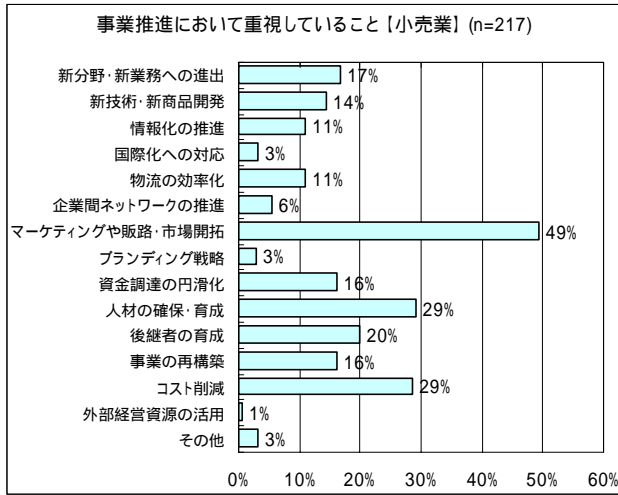
事業推進において重視していることについては、「人材の確保・育成」37%、「マーケティングや販路・市場開拓」34%、「コスト削減」32%の順に回答した企業の割合が高くなっている。

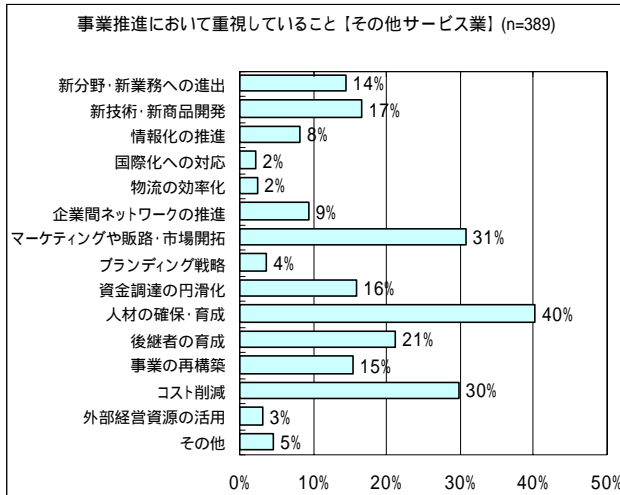
【業種別】







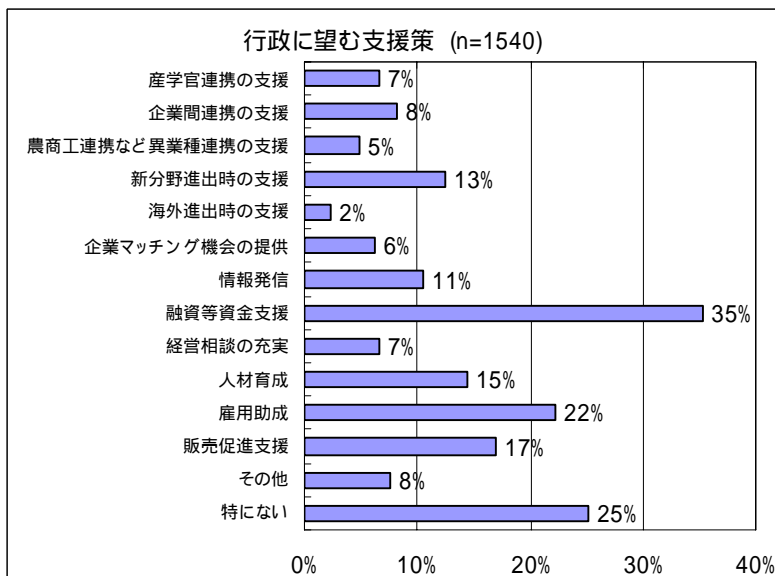




問10 札幌市では、産業振興ビジョンの策定とともに企業に対する公的支援策のあり方についても検討してまいります。貴社が今後事業活動を実施していくにあたり、行政に望む支援策があれば教えてください。（    は3つまで）

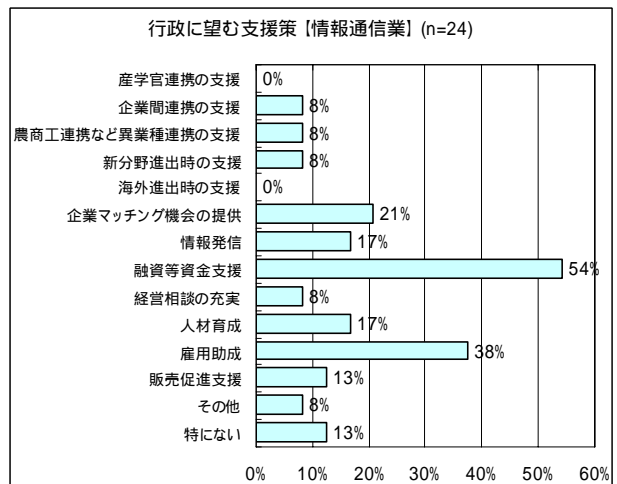
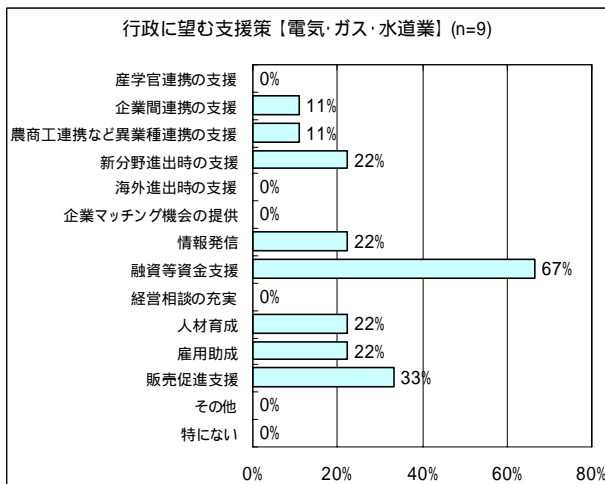
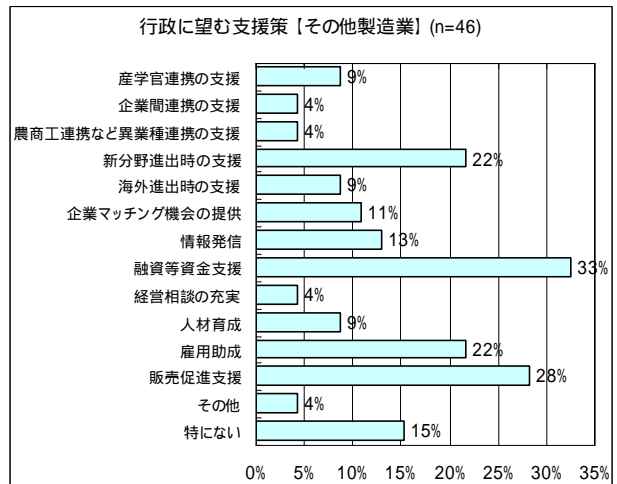
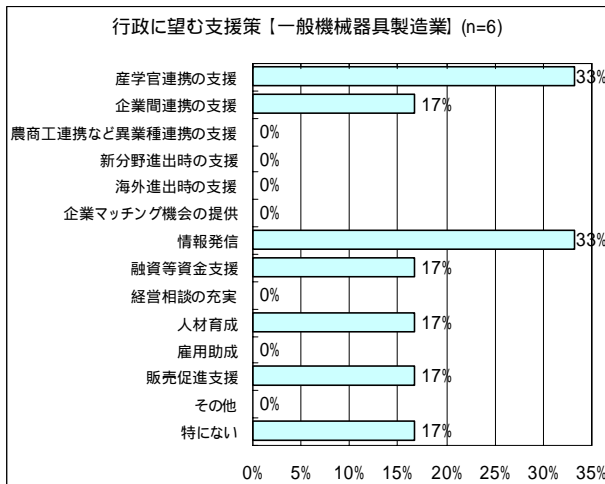
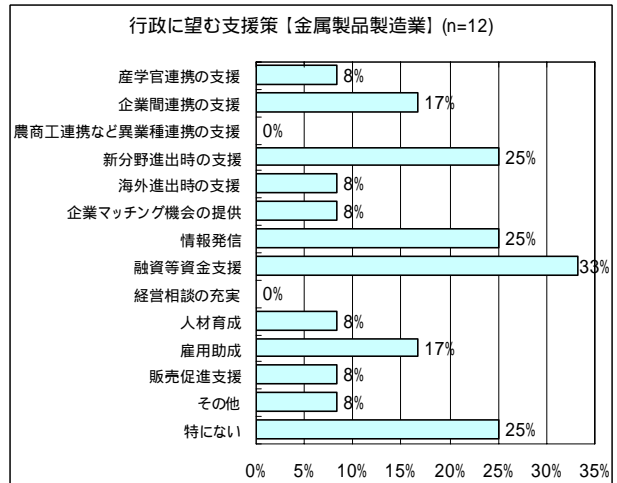
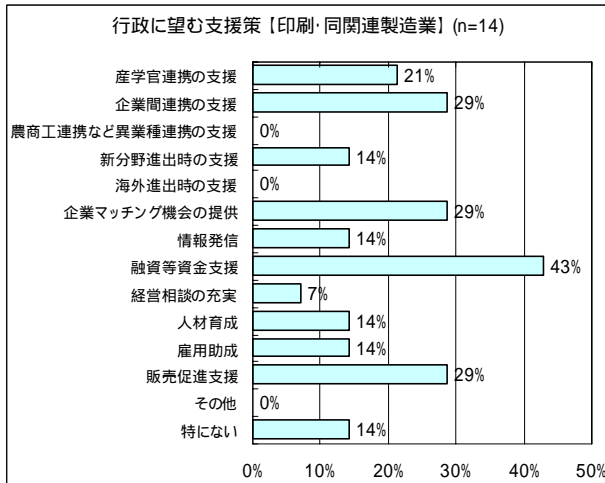
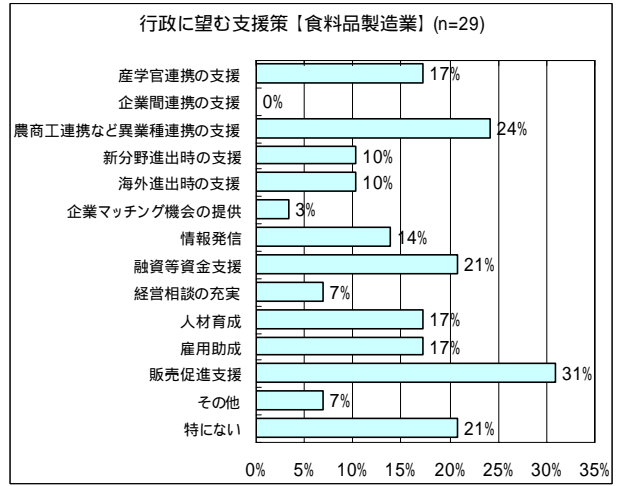
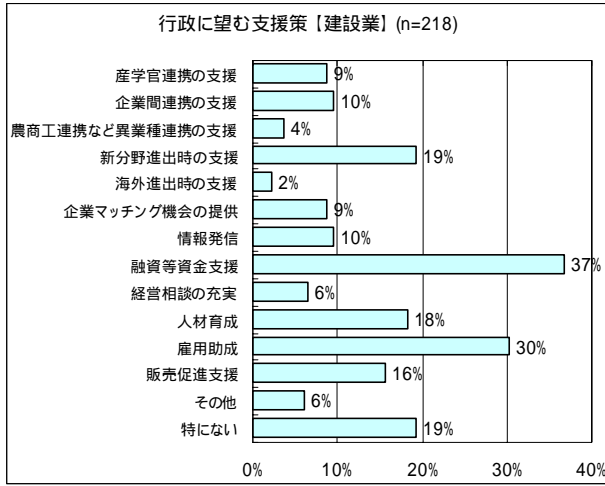
公的支援策	具体的な要望内容 差し支えない範囲でご記入下さい
1. 産学官連携の支援	
2. 企業間連携の支援	
3. 農商工連携など異業種連携の支援	
4. 新分野進出時の支援	
5. 海外進出時の支援	
6. 企業マッチング機会の提供	
7. 情報発信	
8. 融資等資金支援	
9. 経営相談の充実	
10. 人材育成	
11. 雇用助成	
12. 販売促進支援	
13. その他	
14. 特にない	

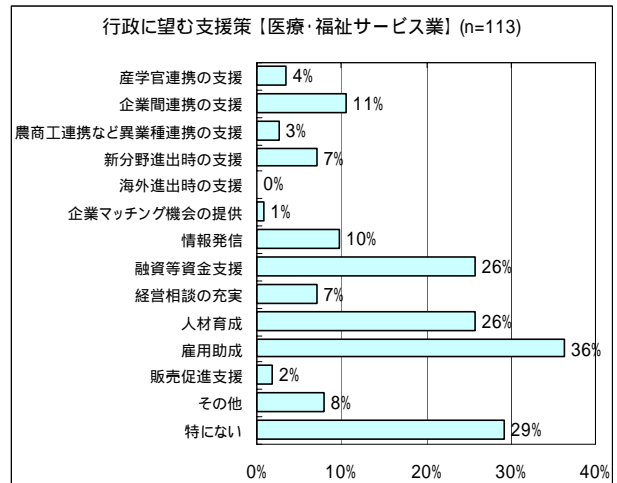
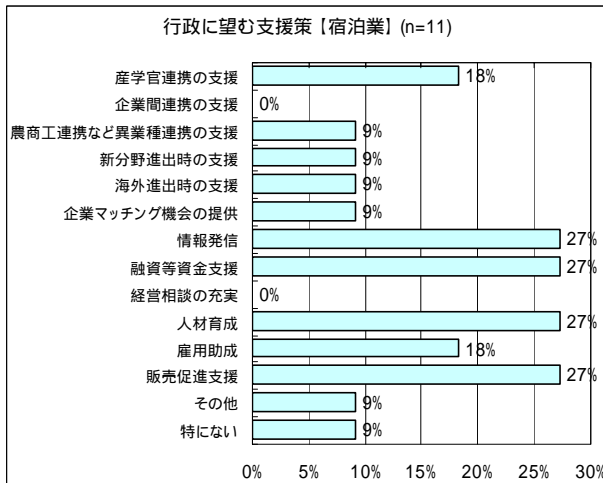
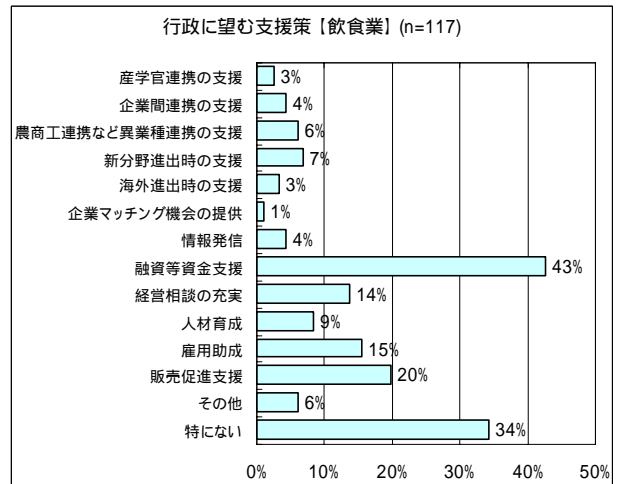
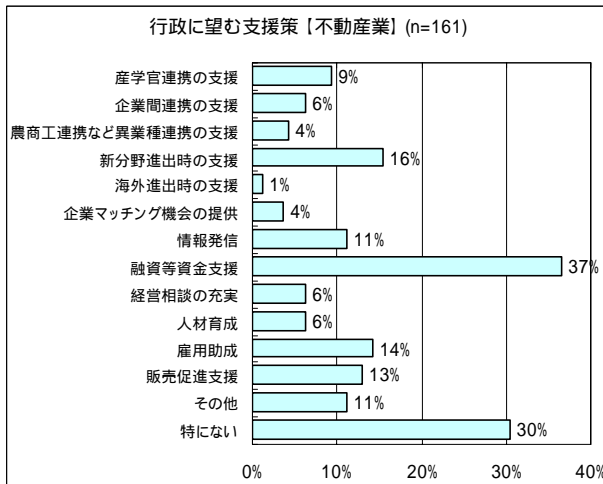
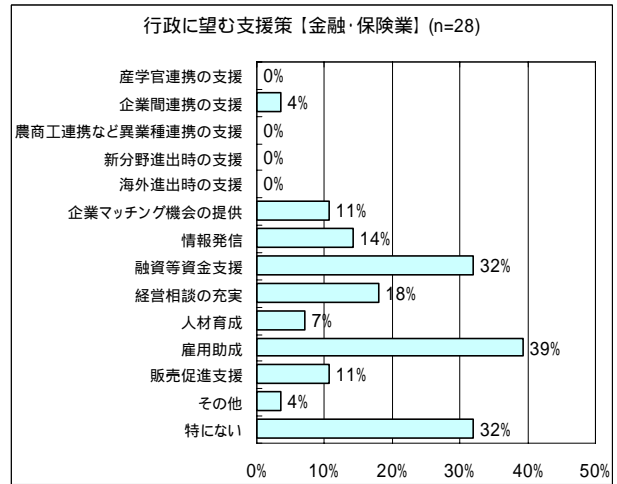
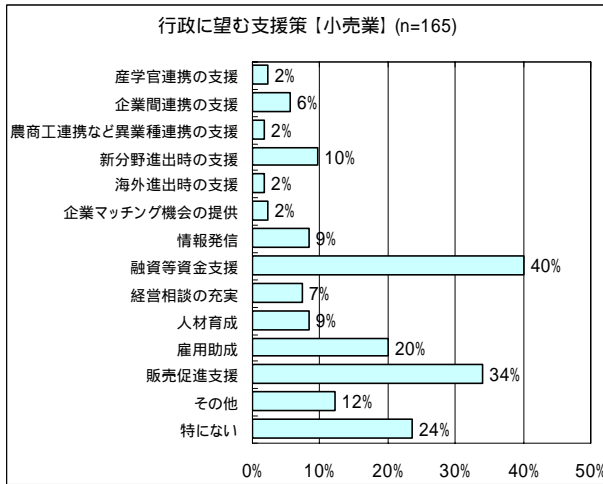
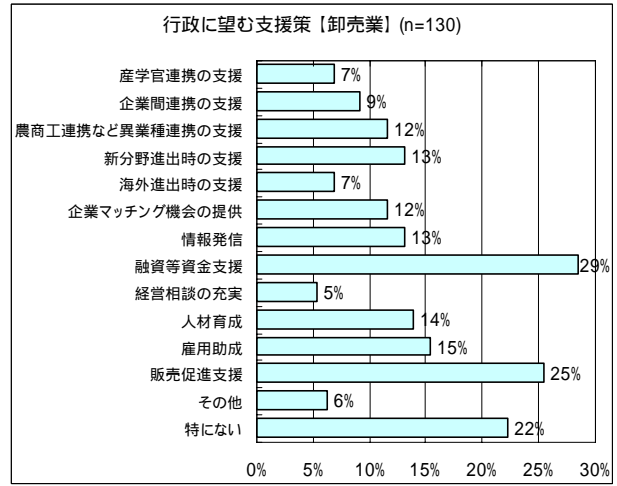
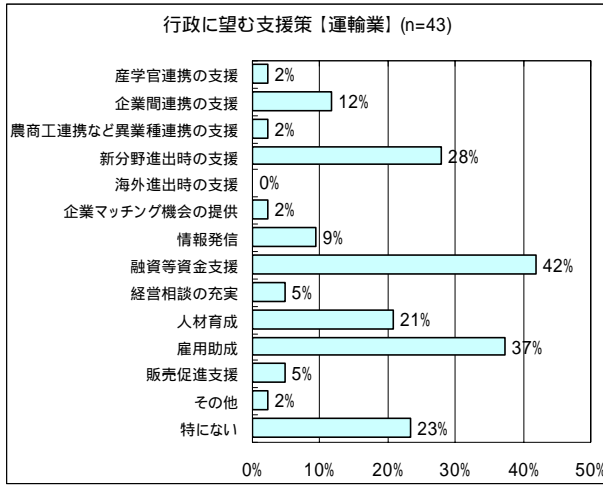
【全業種】

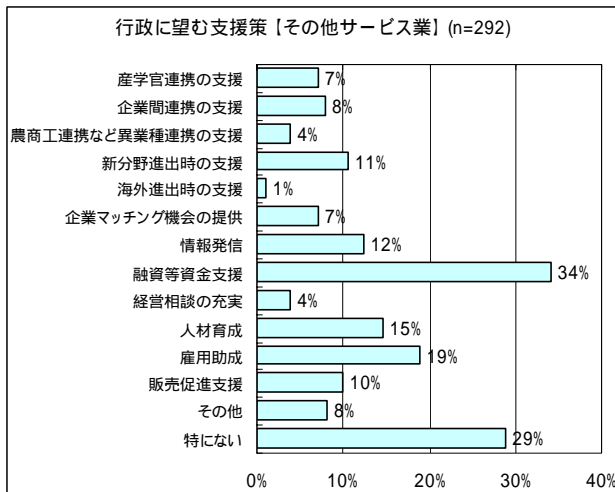
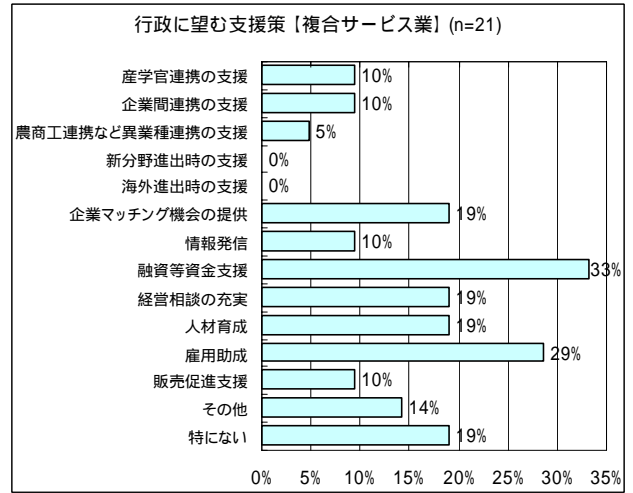
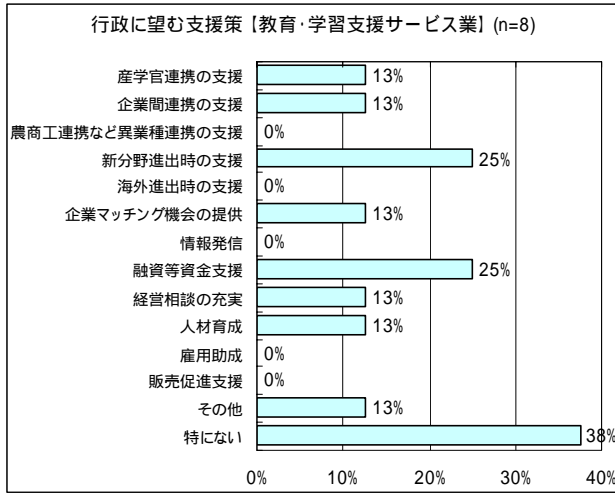


行政に望む支援策について、「融資等資金支援」と回答した企業の割合が35%と最も高くなっている。次いで、「特にない」25%、「雇用助成」22%の割合が高くなっている。

【業種別】







### 3 道外企業向けアンケート結果

#### 回答企業の概要

資本金（支社・支店の場合は、企業全体の資本金）

資本金	件数(社)	構成比(%)
1億円以下	12	8.6%
1億円超～5億円以下	61	43.6%
5億円超～10億円以下	14	10.0%
10億円超～30億円以下	20	14.3%
30億円超～50億円以下	2	1.4%
50億円超	31	22.1%
計	140	100.0%

#### 本社所在地

本社所在地	件数(社)	構成比(%)
仙台市	4	2.9%
さいたま市	3	2.2%
東京都区部	58	42.3%
川崎市	3	2.2%
横浜市	11	8.0%
名古屋市	15	10.9%
京都市	9	6.6%
大阪市	15	10.9%
神戸市	5	3.6%
広島市	7	5.1%
福岡市	7	5.1%
計	137	100.0%

#### 事業所所在地(n=139)

事業所所在地	件数(社)	構成比(%)
北海道	25	18.0%
東北	52	37.4%
関東	105	75.5%
中部	85	61.2%
関西	93	66.9%
中国	47	33.8%
四国	22	15.8%
九州	60	43.2%
沖縄	9	6.5%
海外	25	18.0%
計	523	376.3%

業種（複数の場合は、最も売上高の高い業種）

業種	件数(社)	構成比(%)
建設業	4	2.9%
食料品製造業	3	2.2%
印刷・同関連製造業	0	0.0%
金属製品製造業	2	1.4%
一般機械器具製造業	6	4.3%
その他製造業	12	8.7%
電気・ガス・水道業	0	0.0%
情報通信業	4	2.9%
運輸業	4	2.9%
卸売業	24	17.4%
小売業	8	5.8%
金融・保険業	3	2.2%
不動産業	0	0.0%
飲食業	14	10.1%
宿泊業	6	4.3%
医療・福祉サービス業	9	6.5%
教育・学習支援サービス業	4	2.9%
複合サービス業	1	0.7%
その他サービス業	34	24.6%
計	138	100.0%

従業員数・非正規社員数

従業員数(人)	件数(社)	構成比(%)
0～1999	94	78.3%
2000～3999	11	9.2%
4000～5999	6	5.0%
6000～7999	2	1.7%
8000～9999	4	3.3%
10000以上	3	2.5%
	120	100.0%

非正規社員数(人)	件数(社)	構成比(%)
0～1999	88	88.0%
2000～3999	5	5.0%
4000～5999	3	3.0%
6000～7999	2	2.0%
8000～9999	1	1.0%
10000以上	1	1.0%
	100	100.0%

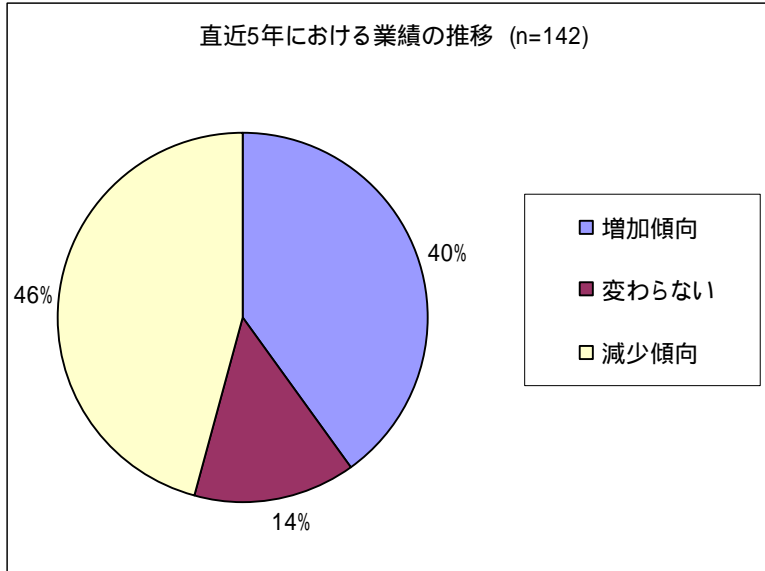


## ・経営状況について

問1 直近5年における業績（売上高）の推移について教えてください。（\_\_は1つ）

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 1. 増加傾向 | 2. 変わらない | 3. 減少傾向 |
|---------|----------|---------|

### 【単純集計】

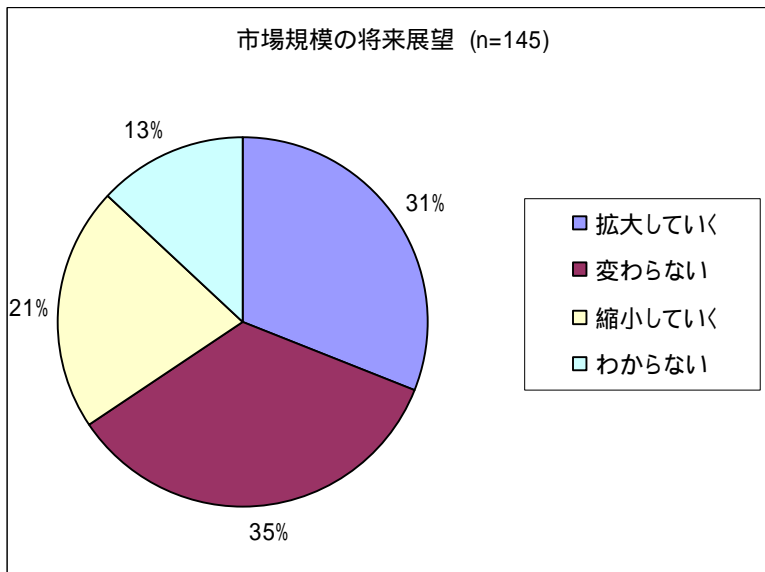


直近5年における業績の推移については、「減少傾向」と回答した企業の割合が46%で、「増加傾向」の40%を若干上回っている。

問2 貴社が現在取り組んでいる事業分野について、市場規模の将来展望を教えてください。（\_\_は1つ）

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 拡大していく | 2. 変わらない | 3. 縮小していく |
| 4. わからない  |          |           |

### 【単純集計】

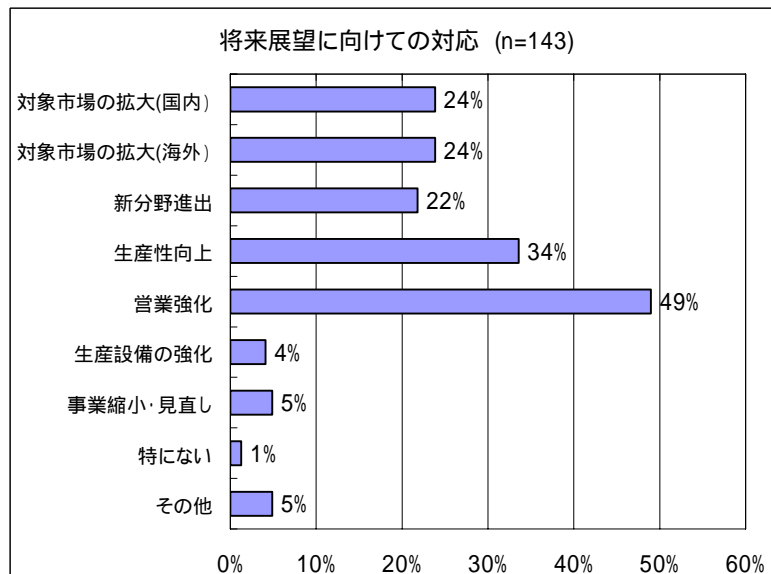


市場規模の将来展望については、「変わらない」35%、「拡大していく」31%、「縮小していく」21%の順に回答した企業の割合が高くなっている。

問3 問2を踏まえて、貴社はどのような対応を検討していますか。（\_\_は2つまで）

1. 対象市場の拡大（国内） 2. 対象市場の拡大（海外） 3. 新分野進出 4. 生産性向上  
 5. 営業強化 6. 生産設備の強化 7. 事業縮小・見直し 8. 特にない  
 9. その他（ ）

【単純集計】



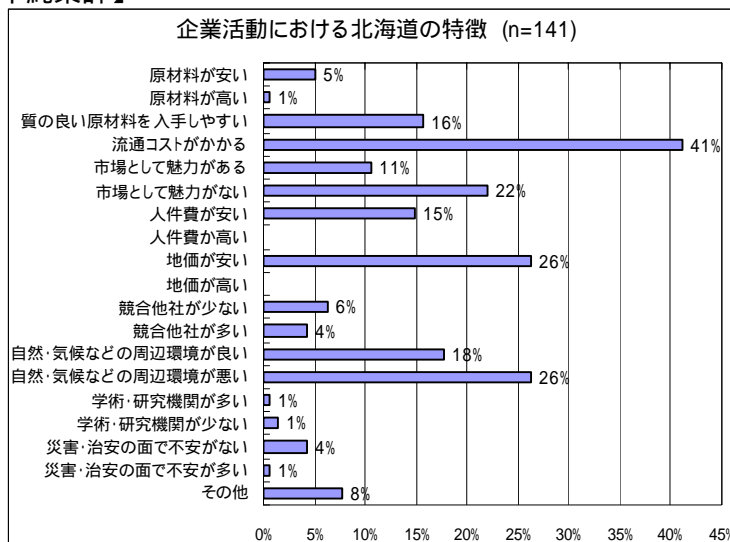
将来展望に向けての対応については、「営業強化」と回答した企業が49%、「生産性向上」が34%となっている。次いで、「対象市場の拡大(国内)」、「対象市場の拡大(海外)」、「新分野進出」が同程度の割合となっている。

・北海道に対する意識、立地意向について

問4 企業活動を行ううえで、北海道の特徴はどのようなものとお考えですか。北海道企業との取引の有無に関わらずお答えください。（\_\_は3つまで）

1. 原材料が安い 2. 原材料が高い 3. 質の良い原材料を入手しやすい  
 4. 流通コストがかかる 5. 市場として魅力がある 6. 市場として魅力がない  
 7. 人件費が安い 8. 人件費が高い 9. 地価が安い 10. 地価が高い 11. 競合他社が少ない  
 12. 競合他社が多い 13. 自然・気候などの周辺環境が良い  
 14. 自然・気候などの周辺環境が悪い 15. 学術・研究機関が多い 16. 学術・研究機関が少ない  
 17. 災害・治安の面で不安がない 18. 災害・治安の面で不安が多い 19. その他（ ）

【単純集計】



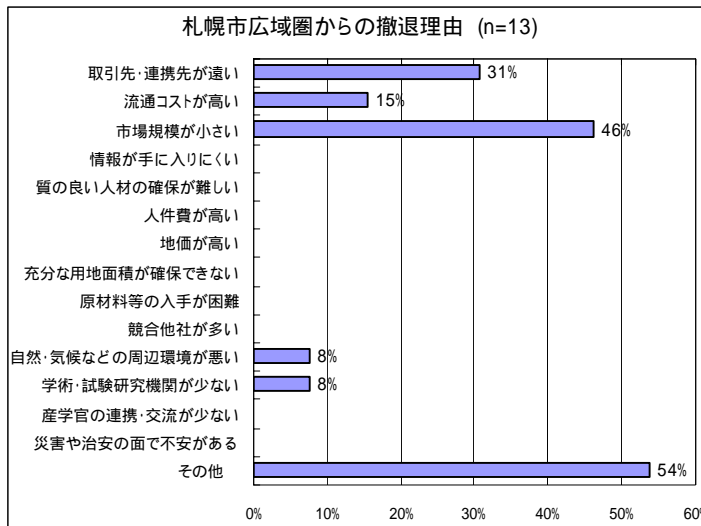
企業活動における北海道の特徴については、「流通コストがかかる」と回答した企業の割合が41%と最も高くなっている。次いで、「地価が安い」26%、「自然・気候などの周辺環境が悪い」26%となっている。



問5 - 3 同じく問5 - 1で「ある」と回答した方にお尋ねします。札幌都市広域圏から撤退した理由を教えてください( 〃は3つまで)

1. 取引先・連携先が遠い 2. 流通コストが高い 3. 市場規模が小さい  
 4. 情報が手に入りにくい 5. 質の良い人材の確保が難しい 6. 人件費が高い  
 7. 地価が高い 8. 十分な用地面積が確保できない 9. 原材料等の入手が困難  
 10. 競合他社が多い 11. 自然・気候などの周辺環境が悪い 12. 学術・試験研究機関が少ない  
 13. 産学官の連携・交流が少ない 14. 災害や治安の面で不安がある 15. その他( )

【単純集計】



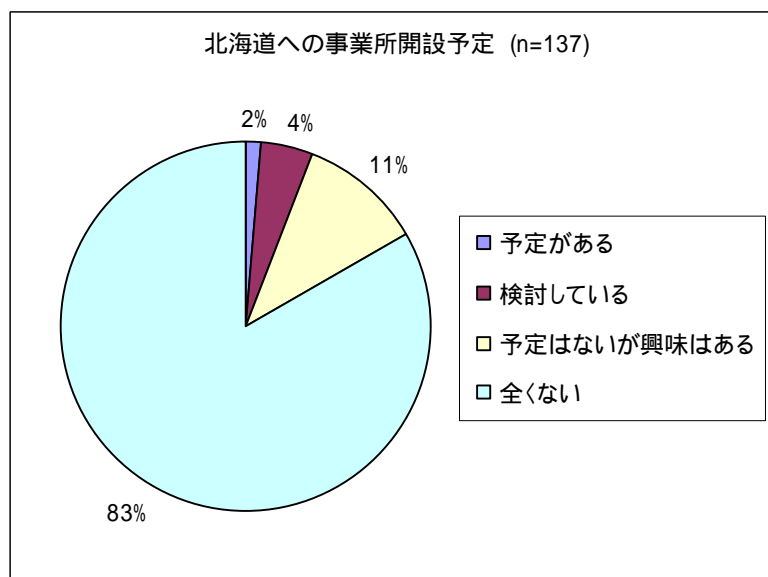
札幌市広域圏からの撤退理由については、「その他」54%、「市場規模が小さい」46%、「取引先・連携先が遠い」31%の順に回答した企業の割合が高くなっている。

「その他」の主な記載内容  
 ・事業の見直し  
 ・親会社への営業権移管  
 ・グループ会社として分社独立したため

問6 - 1 今後、北海道に事業所を開設する予定はありますか。( 〃は1つ)

1. 予定がある 2. 検討している 3. 予定はないが興味はある 4. 全くない

【単純集計】



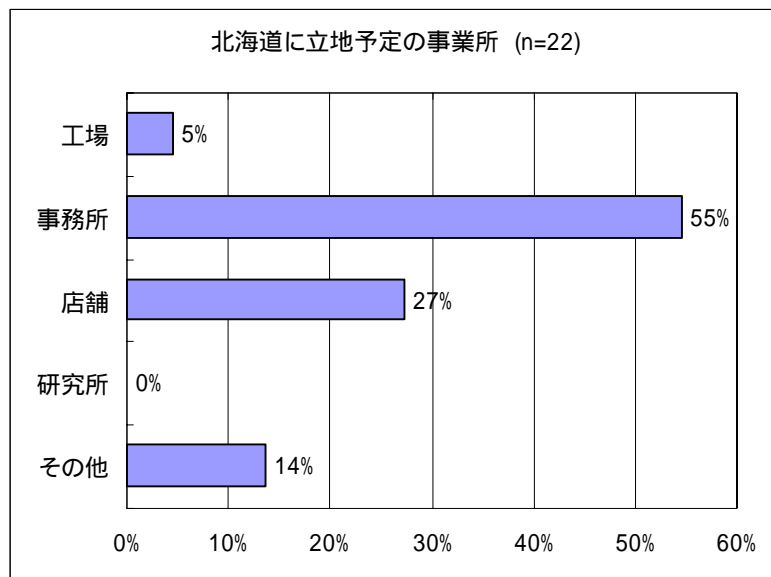
北海道への事業所開設予定については、「全くない」と回答した企業の割合が83%を占めている。「予定がある」と回答した企業の割合は、2%にとどまっている。

問6 - 2 問6 - 1で「1. 予定がある」、「2. 検討している」、「3. 予定はないが興味がある」と回答した方にお尋ねします。立地すると仮定して、どういった施設の立地を考えていらっしゃいますか。

( はいくつでも )

1. 工場 2. 事務所 3. 店舗 4. 研究所 5. その他 ( )

【単純集計】

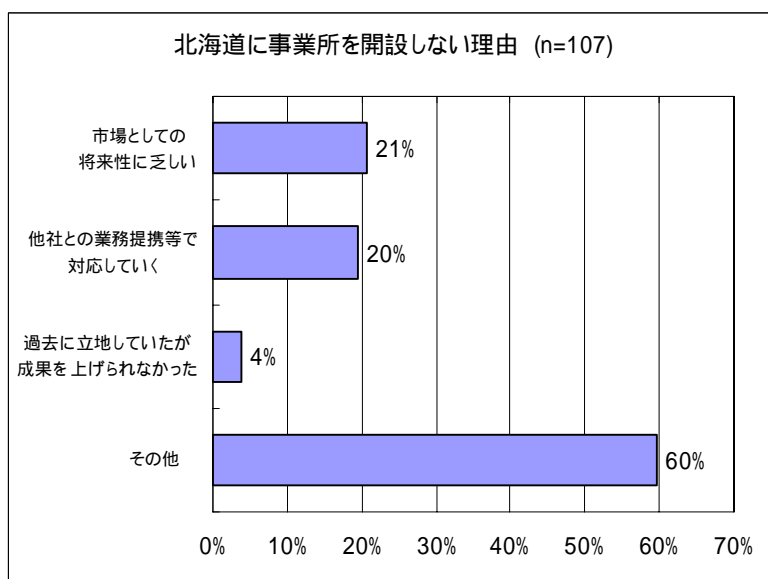


北海道に立地予定の事業所については、「事務所」と回答した企業の割合が55%、「店舗」が27%となっている。

問6 - 3 問6 - 1で「4. 全くない」と回答した方にお尋ねします。理由は何ですか。( はいくつでも )

1. 市場としての将来性に乏しい 2. 他社との業務提携等に対応していく  
3. 過去に立地していたが成果を上げられなかった 4. その他 ( )

【単純集計】



北海道に事業所を開設しない理由については、「その他」と回答した企業の割合が60%、次いで「市場としての将来性に乏しい」、「他社との業務提携等に対応していく」が同程度の割合となっている。

「その他」の主な記載内容

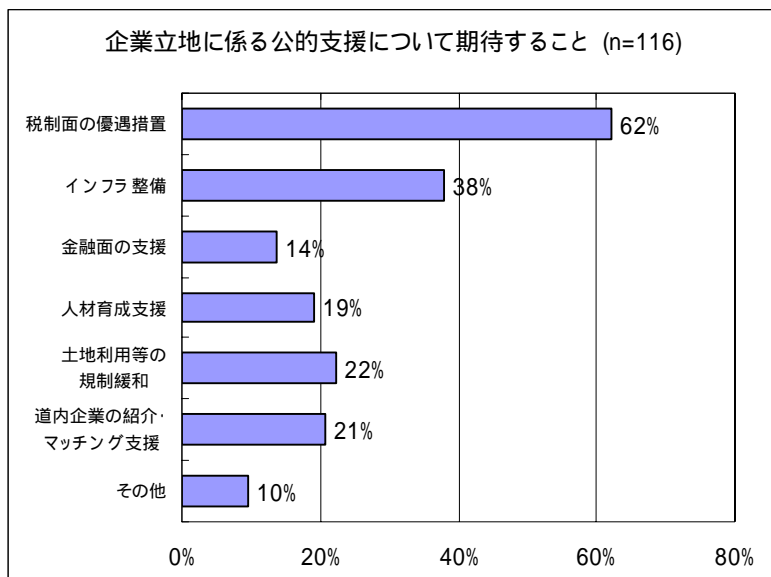
- ・営業エリア外
- ・関連会社にて対応する
- ・業務戦略上、必要なし

## ・企業立地に係る公的支援策について

問7 - 1 企業立地の係る公的支援について行政に期待することがあれば教えてください。  
( 〃は3つまで)

- |               |                    |           |           |
|---------------|--------------------|-----------|-----------|
| 1. 税制面の優遇措置   | 2. インフラ整備          | 3. 金融面の支援 | 4. 人材育成支援 |
| 5. 土地利用等の規制緩和 | 6. 道内企業の紹介・マッチング支援 | 7. その他( ) |           |

### 【単純集計】



企業立地に係る公的支援について期待することについては、「税制面の優遇措置」62%、「インフラ整備」38%の順に回答した企業の割合が高くなっている。

## 札幌市産業振興ビジョン策定に係る基礎調査

秘

- ・本調査は、「札幌市産業振興ビジョン」策定に必要な資料を得るために実施するもので、回答結果につきましては全て統計的に処理し、個々の内容が他に漏れることはありません。
- ・本調査は、札幌市が株式会社北海道二十一世紀総合研究所に委託して実施するものです。
- ・貴社が本社・本店の場合は、全事業所を通じての判断を、支社・支店の場合は貴事業所関係分のみ判断を記入してください。その場合、設問の「貴社」を「貴事業所」と読み替えてください。
- ・回答はこの調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒(切手不要)にて調査実施機関宛ご返送ください。

**回答期限：平成21年10月23日(金)**

【調査実施機関】 札幌市経済局産業振興部経済企画課

【お問い合わせ先】 株式会社北海道二十一世紀総合研究所(札幌市中央区南2条西5丁目10-2)

担当：調査研究部 菅原、高橋

TEL：011-231-3053

FAX：011-231-3143

**貴社(貴事業所)の企業概要についてご記入ください。**

資本金(支社・支店の場合は、企業全体の資本金)	1. 1000万円以下 2. 1000万円超～3000万円以下 3. 3000万円超～5000万円以下 4. 5000万円超～1億円以下 5. 1億円超～5億円以下 6. 5億円超
所在地	1. 札幌市 2. 苫小牧市 3. 小樽市 4. 江別市 5. 千歳市 6. 恵庭市 7. 北広島市 8. 石狩市 9. 当別町 10. 新篠津村
業種 複数の場合は、最も売上高の高い業種に	1. 建設業 2. 食料品製造業 3. 印刷・同関連製造業 4. 金属製品製造業 5. 一般機械器具製造業 6. その他製造業 7. 電気・ガス・水道業 8. 情報通信業 9. 運輸業 10. 卸売業 11. 小売業 12. 金融・保険業 13. 不動産業 14. 飲食業 15. 宿泊業 16. 医療・福祉サービス業 17. 教育・学習支援サービス業 18. 複合サービス業 19. その他サービス業
従業員数	人(うち非正規社員 人) 非正規社員とはパート、アルバイト、契約・派遣社員
本社所在地	1. 道内 2. 道外

**・貴社の経営状況についてお尋ねします。**

### 【売上高の推移】

問1 直近5年における業績(売上高)の推移について教えてください。( 〃は1つ)

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 1. 増加傾向 | 2. 変わらない | 3. 減少傾向 |
|---------|----------|---------|

### 【所在地における企業活動の良い面、悪い面】

問2-1 貴社が現在の所在地で企業活動を実施するにあたり良い面は何ですか。( 〃は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 取引先・提携先と近い 2. 流通コストが安い 3. 市場規模が大きい(ちょうどよい)<br>4. 情報が手に入りやすい 5. 質の良い労働者の確保が容易 6. 人件費が安い 7. 地価が安い<br>8. 十分な用地面積を確保できる 9. 原材料の入手が容易である 10. 競合する他社が少ない<br>11. 自然・気候などの周辺環境が良い 12. 学術・試験研究機関が充実している<br>13. 産学官の連携・交流が活発である 14. 災害や治安の面でリスクが小さい<br>15. その他( ) |
|--|

問2-2 貴社が現在の所在地で企業活動を実施するにあたり悪い面は何ですか。( 〃は3つまで)

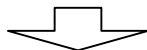
- |   |
|---|
| 1. 取引先・提携先と遠い 2. 流通コストが高い 3. 市場規模が小さい 4. 情報が手に入りにくい<br>5. 質の良い労働者の確保が困難 6. 人件費が高い 7. 地価が高い 8. 十分な用地面積を確保できない<br>9. 原材料の入手が困難 10. 競合する他社が多い 11. 自然・気候などの周辺環境が悪い<br>12. 学術・試験研究機関が少ない 13. 産学官の連携・交流が少ない<br>14. 災害や治安の面で不安がある 15. その他( ) |
|---|

**【 ターゲットとしている市場】**

問3 下記の市場において、貴社の売上が現在最も大きい市場、今後販売強化・進出を考えている市場について、それぞれ選び番号を記入してください（それぞれ3つまで）

	番号を記入(3つまで)		
現在売上が最も大きい市場			
今後販売強化・進出を考えている市場			

以下から選んでください



- |                |             |         |            |               |         |
|----------------|-------------|---------|------------|---------------|---------|
| 1. 札幌市内        | 2. 札幌市以外の道内 | 3. 東北地方 | 4. 関東地方    | 5. 中部地方       | 6. 関西地方 |
| 7. 中国地方(国内)    | 8. 四国地方     | 9. 九州地方 | 10. 沖縄地方   |               |         |
| 11. 中国(大陸部/海外) | 12. 香港      | 13. 台湾  | 14. 韓国     | 15. その他アジア( ) |         |
| 16. ロシア        | 17. 北米      | 18. 欧州  | 19. その他( ) | 20. 特にない      |         |

**【 企業間取引（道外への発注）の状況】**

問4 - 1 貴社の企業間取引（道外への発注）状況について教えてください。貴社は道外企業への発注取引はありますか。（  は1つ）

道外企業とは、本社が道外にある企業のこと、道内に支社、支店がある場合も含まれます。

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. ある（問4 - 2へ） | 2. ない（問5へ） |
|----------------|------------|

問4 - 2 問4 - 1で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください（  は2つまで）

- |                      |                               |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 道内では調達できないものがあるから | 2. 道内でも調達可能だが品質・価格等の面で問題があるから |
| 3. 以前からの付き合いがあるから    | 4. その他( )                     |

問4 - 3 同じく問4 - 1で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。発注先の企業が最も多い(金額ベース)地域に つけてください。（  は3つまで）

- |                |             |         |            |               |         |
|----------------|-------------|---------|------------|---------------|---------|
| 1. 札幌市内        | 2. 札幌市以外の道内 | 3. 東北地方 | 4. 関東地方    | 5. 中部地方       | 6. 関西地方 |
| 7. 中国地方(国内)    | 8. 四国地方     | 9. 九州   | 10. 沖縄地方   |               |         |
| 11. 中国(大陸部/海外) | 12. 香港      | 13. 台湾  | 14. 韓国     | 15. その他アジア( ) |         |
| 16. ロシア        | 17. 北米      | 18. 欧州  | 19. その他( ) | 20. 特にない      |         |

**・今後の貴社の事業展開に係る基本的な方向性についてお尋ねします。**

**【 既存事業分野の将来性】**

問5 貴社が現在取り組んでいる事業分野について、市場規模の将来展望を教えてください。（  は1つ）

- |           |          |           |          |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 拡大していく | 2. 変わらない | 3. 縮小していく | 4. わからない |
|-----------|----------|-----------|----------|

問6 問5を踏まえて、貴社はどのような対応を検討していますか。（  は2つまで）

- |                |                |          |           |         |
|----------------|----------------|----------|-----------|---------|
| 1. 対象市場の拡大（国内） | 2. 対象市場の拡大（海外） | 3. 新分野進出 | 4. 生産性向上  | 5. 営業強化 |
| 6. 生産設備の強化     | 7. 事業縮小・見直し    | 8. 特にない  | 9. その他( ) |         |

**【 立地に係る意向】**

**貴社の所在地(当アンケート送付先) に、本社機能を持つ事業者様のみお答えください。**

問7 - 1 貴社の立地に係る意向を教えてください。（  は1つ）

- |   |
|---|
| 1. 現在の所在地で事業を継続していく（問8にお進みください）             |
| 2. 道内の別の地域への事業所の新設・移転の計画がある（問7 - 2にお進みください） |
| 3. 道外への事業所の新設・移転の計画がある（問7 - 2にお進みください）      |
| 4. まだ決めていない（問7 - 3にお進みください）                 |



問7 - 2 問7 - 1で「2. 道内の別の地域への事業所の新設・移転の計画がある」「3. 道外への事業所の新設・移転の計画がある」と回答した方にお尋ねします。その理由について教えてください。  
( \_\_ は3つまで)

- |   |
|---|
| 1. 事業規模の拡大 2. 事業規模の縮小 3. 主要対象市場の変更 4. 新しい市場への進出<br>5. 主要取引先の変更 6. 税制、雇用助成、設備投資優遇策等でより魅力ある地域への新設・移転<br>7. その他( _____ ) |
|---|

問7 - 3 問7 - 1で「2. 道内の別の地域への事業所の新設・移転の計画がある」「3. 道外への事業所の新設・移転の計画がある」「4. まだ決めていない」と回答した方にお尋ねします。他地域への新設・移転を検討する上で最も重視する条件を教えてください( \_\_ は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 取引先・提携先との近接性 2. 流通コスト 3. 市場規模 4. 情報入手の容易さ 5. 良質の人材確保<br>6. 人件費 7. 地価 8. 用地面積の確保 9. 原材料の入手の容易さ 10. 競合する他社の数<br>11. 自然・気候などの周辺環境 12. 学術・試験研究機関が充実 13. 産学官の連携・交流密度<br>14. 災害や治安の面での安全安心 15. その他( _____ ) |
|--|

### 【 新分野進出の意向】

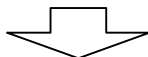
問8 - 1 現在、貴社は新分野、新業務への取り組みを行っていますか。( \_\_ は1つ)

- |  |
|--|
| 1. 行っている 2. 現在取り組む計画がある 3. 将来取り組む意向はある(1.~3. 問8 - 2へ)<br>4. 取り組む予定はない(問8 - 6へ) |
|--|

問8 - 2 問8 - 1で「1. 行っている」「2. 取り組む計画がある」「3. 取り組む意向はある」と回答した方にお尋ねします。最も重視している分野を選んでください。( \_\_ は3つまで)

- |   |
|---|
| 1. 医療・健康 2. 介護・福祉 3. 農業 4. 環境・リサイクル 5. 新IT・省IT<br>6. IT・情報関連 7. バイオテクノロジー 8. 教育・人材育成 9. 食関連 10. 観光 11. 小売<br>12. 卸売 13. 製造 14. 住宅・住設 15. その他( _____ ) |
|---|

差し支えなければ、事業内容をご記入ください



--

問8 - 3 問8 - 2で選んだ新分野は、貴社の既存事業から得た技術やノウハウを活かせる分野ですか。  
( \_\_ は1つ)

- |  |
|--|
| 1. 活かしていける分野である(問8 - 4へ) 2. 全く関連性がない分野である(問8 - 5へ) |
|--|

問8 - 4 問8 - 3で「1. 活かしていける分野である」と回答した方にお尋ねします。どういった点を活かしていけるとお考えですか。( \_\_ は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 既存販路 2. 既存技術 3. 既存設備 4. 既存事業から得たノウハウ<br>5. その他( _____ ) |
|--|

問 8 - 5 新分野進出の際、基盤となる技術・ノウハウの導入方法について教えてください( 〃は2つまで)

- |                         |                    |              |
|-------------------------|--------------------|--------------|
| 1. 自社の既存技術・ノウハウだけで対応    | 2. 自社での独自開発        | 3. 他社からの技術導入 |
| 4. 他社との共同開発             | 5. 学術・試験研究機関との共同開発 |              |
| 6. 1.~5.以外の産学官連携による共同開発 | 6. その他( )          |              |

問 8 - 6 問 8 - 1 で「4. 取り組む予定はない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください。( 〃は2つまで)

- |                 |           |               |               |
|-----------------|-----------|---------------|---------------|
| 1. 人材の不足        | 2. 資金力の不足 | 3. 技術力・専門力の不足 | 4. 特に必要性を感じない |
| 5. 新分野に関する情報がない | 6. リスクが大き | 7. その他( )     |               |

**・上記の貴社の事業展開の現状、将来の方向性を踏まえてお答え下さい。**

問 9 貴社の事業推進にあたり、重視していることを教えてください( 〃は3つまで)

- |                |                 |                    |            |
|----------------|-----------------|--------------------|------------|
| 1. 新分野・新業務への進出 | 2. 新技術・新商品開発    | 3. 情報化の推進          | 4. 国際化への対応 |
| 5. 物流の効率化      | 6. 企業間ネットワークの推進 | 7. マーケティングや販路・市場開拓 |            |
| 8. ブランディング戦略   | 9. 資金調達の円滑化     | 10. 人材の確保・育成       | 11. 後継者の育成 |
| 12. 事業の再構築     | 13. コスト削減       | 14. 外部経営資源の活用      | 15. その他( ) |

問 1 0 札幌市では、産業振興ビジョンの策定とともに企業に対する公的支援策のあり方についても検討してまいります。貴社が今後事業活動を実施していくにあたり、行政に望む支援策があれば教えてください。( 〃は3つまで)

公的支援策	具体的な要望内容 差し支えない範囲でご記入下さい
1. 産学官連携の支援	
2. 企業間連携の支援	
3. 農商工連携など異業種連携の支援	
4. 新分野進出時の支援	
5. 海外進出時の支援	
6. 企業マッチング機会の提供	
7. 情報発信	
8. 融資等資金支援	
9. 経営相談の充実	
10. 人材育成	
11. 雇用助成	
12. 販売促進支援	
13. その他	
14. 特にない	

差し支えなければ貴社名をご記入下さい。

貴社名(貴事業所名)	
連絡先	
記入頂いた方の役職・お名前	

以上でアンケートは終了です。ご協力有り難うございました。

## 札幌市産業振興ビジョン策定に係る基礎調査

秘

- ・本調査は、「札幌市産業振興ビジョン」策定に必要な資料を得るために実施するもので、回答結果につきましては全て統計的に処理し、個々の内容が他に漏れることはありません。
- ・本調査は、札幌市が株式会社北海道二十一世紀総合研究所に委託して実施しているものです。
- ・回答はこの調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒またはFAXにてご返送ください。

**回答期限：平成21年10月23日(金)**

【調査実施機関】 札幌市経済局産業振興部経済企画課  
 【お問い合わせ先】 株式会社北海道二十一世紀総合研究所（札幌市中央区南2条西5丁目10-2）  
 担当：調査研究部 菅原、高橋  
 TEL：011-231-3053 FAX：011-231-3143

貴社の企業概要についてご記入ください。

資本金	1. 1億円以下 2. 1億円超～5億円以下 3. 5億円超～10億円以下 4. 10億円超～30億円以下 5. 30億円超～50億円以下 6. 50億円超
本社所在地	1. 仙台市 2. さいたま市 3. 東京都区部 4. 川崎市 5. 横浜市 6. 名古屋市 7. 京都市 8. 大阪市 9. 神戸市 10. 広島市 11. 福岡市
事業所所在地（すべてに） 工場、事務所、店舗、研究所	1. 北海道 2. 東北 3. 関東 4. 中部 5. 関西 6. 中国 7. 四国 8. 九州 9. 沖縄 10. 海外
業種 複数の場合は、最も売上高の高い業種に	1. 建設業 2. 食料品製造業 3. 印刷・同関連製造業 4. 金属製品製造業 5. 一般機械器具製造業 6. その他製造業 7. 電気・ガス・水道業 8. 情報通信業 9. 運輸業 10. 卸売業 11. 小売業 12. 金融・保険業 13. 不動産業 14. 飲食業 15. 宿泊業 16. 医療・福祉サービス業 17. 教育・学習支援サービス業 18. 複合サービス業 19. その他サービス業
従業員数	人（うち非正規社員 人） 非正規社員とは、パート、アルバイト、契約社員、派遣社員

### ・貴社の経営状況についてお尋ねします。

問1 直近5年における業績（売上高）の推移について教えてください。（  は1つ）

1. 増加傾向                      2. 変わらない                      3. 減少傾向

問2 貴社が現在取り組んでいる事業分野について、市場規模の将来展望を教えてください。（  は1つ）

1. 拡大していく                      2. 変わらない                      3. 縮小していく                      4. わからない

問3 問2を踏まえて、貴社はどのような対応を検討していますか。（  は2つまで）

1. 対象市場の拡大（国内）    2. 対象市場の拡大（海外）    3. 新分野進出                      4. 生産性向上  
5. 営業強化                      6. 生産設備の強化                      7. 事業縮小・見直し  
8. 特にない                      9. その他（                      ）

### ・北海道に対する意識、立地意向についてお尋ねします。

問4 企業活動を行ううえで、北海道の特徴はどのようなものとお考えですか。北海道企業との取引の有無に関わらずお答えください。（  は3つまで）

1. 原材料が安い    2. 原材料が高い    3. 質の良い原材料を入手しやすい    4. 流通コストがかかる  
5. 市場として魅力がある    6. 市場として魅力がない    7. 人件費が安い    8. 人件費が高い  
9. 地価が安い    10. 地価が高い    11. 競合他社が少ない    12. 競合他社が多い  
13. 自然・気候などの周辺環境が良い    14. 自然・気候などの周辺環境が悪い  
15. 学術・研究機関が多い    16. 学術・研究機関が少ない    17. 災害・治安の面で不安がない  
18. 災害・治安の面で不安が多い    19. その他（                      ）

問5 - 1 貴社は、過去10年間に札幌都市広域圏(札幌市、苫小牧市、小樽市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村)に事業所(工場、事務所、店舗、研究所等)を立地していたことがありますか。( \_\_ は1つ )

1. ある 2. ない

問5 - 2 問5 - 1で「ある」と回答した方にお尋ねします。それは、どういった施設でしたか。( \_\_ はいくつでも )

1. 工場 2. 事務所 3. 店舗 4. 研究所 5. その他( )

問5 - 3 同じく問5 - 1で「ある」と回答した方にお尋ねします。札幌都市広域圏から撤退した理由を教えてください。( \_\_ は3つまで )

1. 取引先・連携先が遠い 2. 流通コストが高い 3. 市場規模が小さい 4. 情報が手に入りにくい  
5. 質の良い人材の確保が難しい 6. 人件費が高い 7. 地価が高い 8. 十分な用地面積が確保できない  
9. 原材料等の入手が困難 10. 競合他社が多い 11. 自然・気候などの周辺環境が悪い  
12. 学術・試験研究機関が少ない 13. 産学官の連携・交流が少ない  
14. 災害や治安の面で不安がある 15. その他( )

問6 - 1 今後、北海道に事業所を開設する予定はありますか。( \_\_ は1つ )

1. 予定がある 2. 検討している 3. 予定はないが興味はある 4. 全くない

問6 - 2 問6 - 1で「1. 予定がある」、「2. 検討している」、「3. 予定はないが興味がある」と回答した方にお尋ねします。立地すると仮定して、どういった施設の立地を考えていらっしゃいますか。( \_\_ はいくつでも )

1. 工場 2. 事務所 3. 店舗 4. 研究所 5. その他( )

問6 - 3 問6 - 1で「4. 全くない」と回答した方にお尋ねします。理由は何ですか。( \_\_ はいくつでも )

1. 市場としての将来性に乏しい 2. 他社との業務提携等で対応していく  
3. 過去に立地していたが成果を上げられなかった 4. その他( )

### ・企業立地に係る公的支援策について教えてください。

問7 - 1 企業立地の係る公的支援について行政に期待することがあれば教えてください。( \_\_ は3つまで )

1. 税制面の優遇措置 2. インフラ整備 3. 金融面の支援 4. 人材育成支援  
5. 土地利用等の規制緩和 6. 道内企業の紹介・マッチング支援 7. その他( )

問7 - 2 札幌市による企業立地支援に関する情報提供を希望されますか。( \_\_ は1つ )

1. 資料を送付してほしい 2. 詳しい説明が聞きたい 3. 希望しない

差し支えなければ貴社名をご記入下さい。

貴社名(貴事業所名)	
連絡先	
記入頂いた方の役職・お名前	

以上でアンケートは終了です。ご協力有り難うございました。返信用封筒(切手不要)またはFAX(011-231-3143)にてご返送下さい。

